J

LK-280 CDTV

取扱説明書（保証書別添）

ご使用の前に「安全上のご注意」をお読みの上、
正しくお使いください。
本書は、お読みになったあとも、大切に保管して
ください。

LK280CDTV-JA-1

CASIO®

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危　険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警　告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危　険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
   そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警　告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

AC アダプターについて

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 必ず本機指定の AC アダプターを使用する
  - 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用する
  - １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

- AC アダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 重いものを乗せたり、加熱しない
  - 加工したり、無理に曲げない
  - ねじったり、引っ張ったりしない
  - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

- 濡れた手で AC アダプターに触れないでください。
  感電の原因となります。

- AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。

- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警　告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

⚠ 警　告

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。
窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機やスタンド※に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

⚠ 注　意

ACアダプターについて

● ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
（必ずACアダプター本体を持って抜く）

● ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

移動させるときは

移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、ACアダプター本体をコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注　意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

コネクター部への接続

コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙があたるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

表示画面について

＊ 表示画面の液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
＊ 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
＊ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
＊ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注　意

音量について

大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。

健康上のご注意

ごくまれに、強い光の刺激や光の点滅を受けたりしていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。

＊ このような症状のある方がお使いになる場合は、事前に必ず医師と相談してください。

＊ 本機を使用する場合には、明るい部屋で使用してください。

＊ 使用中にこのような症状がおきた場合には、すぐに使用を中止して、医師の診察を受けて下さい。

⚠ 注　意

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

スタンド※は正しく組み立てる

スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。
スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。

CD ドライブについて

＊ レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

＊ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

※スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。
- 鍵盤の光が発音時に暗くなる。
- マイクの音量が小さくなった。
- マイクの音質が劣化した。
- マイクを使うと電源ランプが暗くなる。
- マイクを使うと電源が切れる。

主な特長

本機は次のような特長を備えたキーボードです。

■ 264 音色で演奏できます。（264 音色）☞17 ページ

ステレオピアノやシンセサウンド、ドラムセットなど豊富な音色を備えています。また、音に奥行きや深みを与える効果をかけられます（リバーブ／コーラス）。

■ ピアノ曲をはじめ、90 曲の内蔵曲を鳴らして楽しむことができます。☞19 ページ

本機の内蔵曲には、ソングバンク（自動伴奏曲：40 曲）、ピアノバンク（ピアノ曲：50 曲）の 2 つのグループがあります。曲を聴いたり、自動伴奏曲のメロディーパートやピアノ曲の片方のパートを消して、その部分を自分で弾いたりすることができます。

■「聴ける」「弾ける」「歌える」楽しみ方が広がる CD ドライブを搭載しています。☞22 ページ

本機の CD ドライブを使えば、お手持ちの音楽 CD を聴いたり、本機ソングバンク用の曲データ CD(付属品／別売品)で、曲を増やして、光ナビで練習したり、歌ったりできます。

■ ビデオアウト端子にテレビをつなげて、テレビ画面でリストや歌詞を表示できます。☞16 ページ

本機を映像入力端子付きのテレビと接続すれば、レッスンした曲の採点結果や、歌詞をテレビ画面で見ることができます。

■ ギター端子付きです。☞16 ページ

本機のギター端子にお手持ちのエレキギターをつないで、アンサンブル演奏が楽しめます。

■ マイク端子にマイクをつなげてカラオケが楽しめます。☞24 ページ

マイク端子にマイクをつなげれば、ソングバンクの曲やパソコンでダウンロードした曲による演奏でカラオケが楽しめます。
マイクにエコーをかけられます。

■ パソコンでダウンロードした曲データをソングバンクで使用できます。（送信機能）☞48 ページ

CASIOインターネット楽譜配信サービスやカラオケ配信サービスを利用すれば、本機に内蔵していない曲を本機のソングバンク（最大 10 曲）に取り込んで、再生したり、カラオケで歌ったり、3 ステップレッスン機能で練習することができます。

■ 内蔵曲を練習して、できばえを採点することができます。（アドバンスト 3 ステップレッスン）☞26 ページ

3 ステップレッスン機能で自分のペースで気軽に練習できます。また、採点機能で練習したできばえを確認しながら、ステップアップすることができます。

- 3ステップレッスン機能：内蔵曲をパートごとに3つのステップにわけて練習できます。鍵盤の光※を追いかけて練習することができます。
- 採点機能：ステップ 1、2、3 で練習した成果をそれぞれ採点することができます。また、レッスン中や終了後に採点状況を表示と音声で知らせてくれます。
  ※直射日光の下や非常に明るい照明の下では、鍵盤が光っているのがわかりづらいことがあります。

■ 大型液晶画面が歌詞やキーボードの弾き方を示します。（ミュージカルインフォメーションシステム）

カラオケボタンを押して曲を再生すると、大型液晶画面に歌詞（カナ文字）が表示され、曲にあわせて歌うときに便利です。また、鍵盤を押さえるための指使いや、鍵盤情報、五線譜などを表示し、キーボード演奏の手助けをします。指使いや鍵盤情報はキーボード初心者向けに無理のない押さえ方を表示します。

- 暗い場所でも見易いバックライト付液晶画面を採用しています。

■ ピアノの演奏や練習に便利な“ピアノバンクボタン”付きです。☞32 ページ

ボタン一つで、ピアノ音色とピアノ曲が選択されます。

■ 120 種類のリズムに合わせて演奏できます。（120 リズム）☞33 ページ

ロックやポップス、ジャズなど 120 種類のリズムを備えています。

■ 一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。（自動伴奏機能）☞34 ページ

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。

■ 練習した曲を録音、再生してその成果を聴いてみることができます。（ソングメモリー機能）☞39 ページ

2 パートの演奏内容を本体内に録音して聴くことができます。本機の 3 ステップレッスンでソングバンクの曲を練習した後にその成果を録音、再生して聴いてみることができます（レッスンソング）。自動伴奏機能と組み合わせることで、本格的なアンサンブルの曲作りも行えます（ユーザーソング）。また、録音した曲を再生すると、メロディーに合わせて鍵盤が光ります。

インターネット楽譜配信サービスのご案内

130円（税込136円）/1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、演歌、ピアノ曲などの豊富なラインアップ!

Windows 95/98/Me/XP 対応

http://music.casio.co.jp

• • •「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます。• • •

お好きな曲をレパートリーに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞つきの楽譜を表示、印刷も可能です。
本体とパソコンをつなげて曲を聴いたり、3ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

インターネットカラオケ配信サービスのご案内

インターネット・ソングバンク

- ご家庭のパソコンで手軽に本格的なカラオケが楽しめます。
- カラオケソフトは無料！(誰にでも簡単にインストール可)
- 歌詞色変わり表示、カラオケボックス感覚の歌い放題。
- 1時間100円(税込105円)からのお手軽料金。
- 試聴は無料。

この機会にカラオケソフト(サンプル曲付き)をぜひ、お試しください。

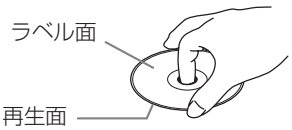
http://music.casio.co.jp/karaoke

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に温度を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱上のご注意

● 再生面を触れないように持ってください。



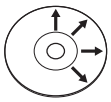
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

ディスク使用上のご注意

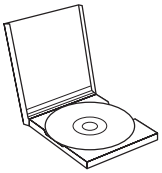
ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひびや割れや変型したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

●ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



●長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



●ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc / COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable のマークが入ったものをご使用ください。

重要

- **本機では、上記のマークが付いたCDにDigitalAudioフォーマットのデータのみ収録されたもの、またはカシオフォーマットのデータのみ収録されたものを使用できます。**
- **本機では、CD-R/RWへの書き込みはできません。**

NOTE

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

著作権について

あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

目次

安全上のご注意

主な特長 4

目 次 6

各部の名称 8

譜面立ての使い方 9

すぐ使いたい方に 11

内蔵曲を練習してみる 11

付属のCDを再生してみる 12

電源について 13

家庭用100V電源で使うときには 13

電池で使うときには 13

オートパワーオフ機能／
電源切り忘れのお知らせ機能 14

ソングメモリー内容について 14

接続について 15

ヘッドホン／アウトプット端子について 15

パソコンとの接続について 15

アサイナブル端子について 15

ギターイン端子について 16

マイク端子について 16

ビデオアウト端子について 16

付属品・別売品について 16

基本的な操作をしてみましょう 17

音を出してみましょう 17

音色を選ぶには 17

音に効果（エフェクト）をかけるには 18

鍵盤の光を消すには 18

内蔵曲を鳴らしてみましょう 19

ソングバンクの曲を聴いてみましょう 19

ピアノバンクの曲を聴いてみましょう 20

テンポを調節するには 20

曲を一時停止するには 20

曲を早戻しするには 21

曲を早送りするには 21

フレーズを繰り返し聴くには 21

メロディーの音色を変えるには 21

デモ演奏を聴くには 21

CD ドライブを使うには 22

本機で使用できるCDの種類について 22

CDドライブにCDを入れる 23

曲を選んで再生するには 23

マイクを使って歌ってみましょう ... 24

内蔵曲を練習してみましょう
（アドバンスト３ステップレッスン）.... 26

採点機能について 27

ステップ1：弾くタイミングを覚えます 28

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます 29

ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう ... 30

練習フレーズ機能について 31

運指音声（しゃべる運指） 31

メトロノームを使うには 32

ピアノバンクボタンについて 32

自動伴奏を鳴らしてみましょう 33

リズムを選ぶには 33
リズムを鳴らすには 33
コード自動伴奏を鳴らすには 34
イントロを入れるには 37
フィルインを入れるには 37
同じリズムで演奏パターンを変化させるには ... 37
バリエーションのリズムに
フィルインを入れるには 37
伴奏とリズムを同時にスタートさせるには 37
エンディングを付けて曲を終わらせるには 38

演奏を録音してみましょう 39

本機で録音できる内容と
パート／トラックについて 39
練習の成果を録音してみましょう
（レッスンソング録音）..... 40
演奏をそのまま録音してみましょう
（ユーザーソング録音）..... 41
ユーザーソング録音した演奏を
聴いてみましょう 42
メロディーの演奏を重ねて録音してみましょう
（ユーザーソング録音）..... 42
特定のパート／トラックを消去するには 43

設定を変えてみましょう 44

レイヤー機能を利用するには 44
スプリット機能を利用するには 44
レイヤーとスプリットを同時に使うには 45
トランスポーズ機能を利用するには 46
タッチレスポンス機能を利用するには 46
伴奏/内蔵曲/CD(タイプA)の音量を変えるには .. 47
チューニング機能を使うには 47

パソコンとの接続について 48

ソングバンクの曲を増やすには 48
GMについて 49
設定を変えるには 49
本機で送受信可能なメッセージ 51

困ったときは 53

資料 55

トーンリスト 55
音色別発音域表 58
リズムリスト 59
ソングリスト 60
ソングバンク／カラオケリスト 60
ピアノバンクリスト 60
ドラム音色リスト 61
フィンガードコード一覧表 63

カシオトーン用楽譜集のご紹介 64

ご使用上の注意 64

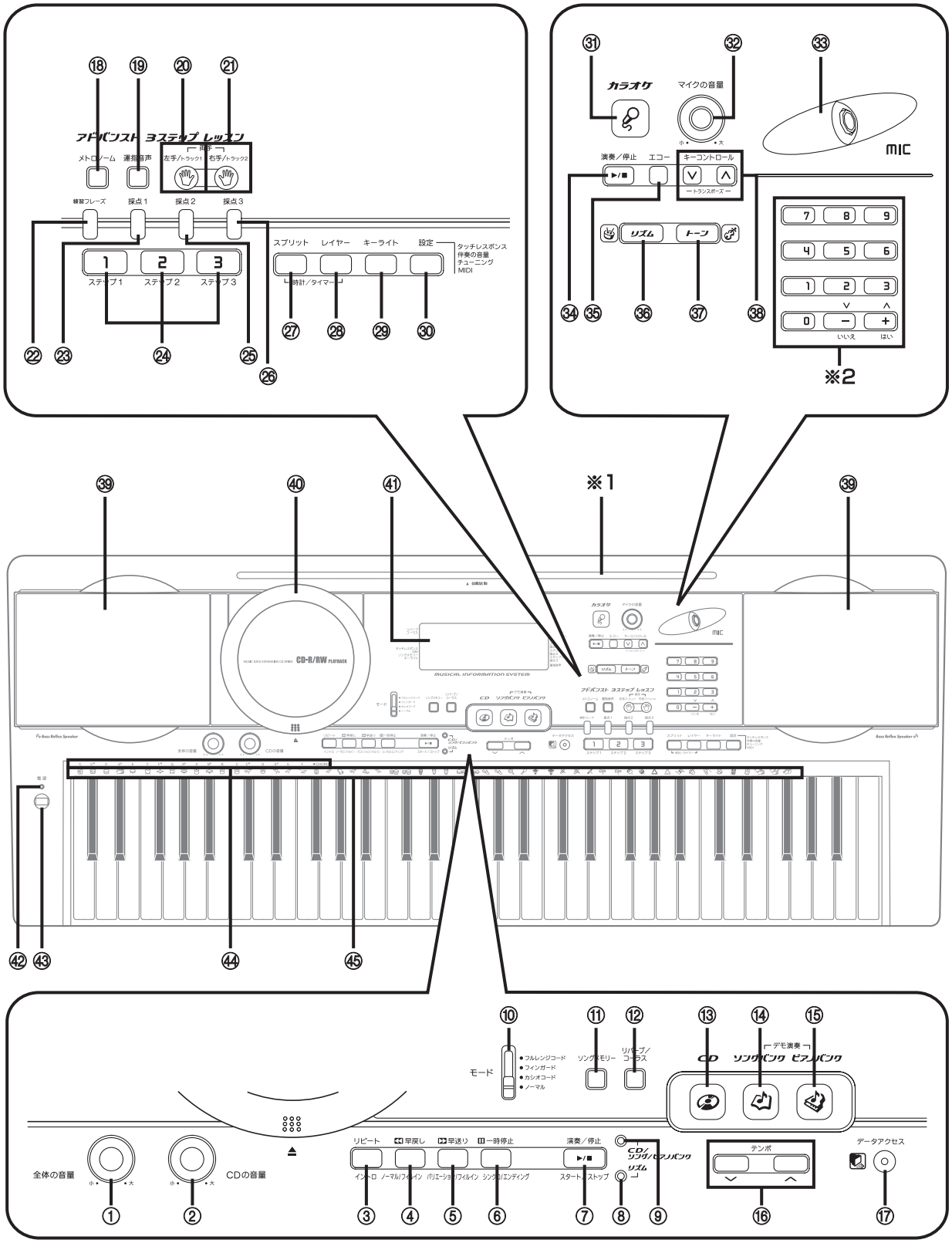
製品仕様 65

保証・アフターサービスについて 66

USB 端子で送信・受信される MIDI メッセージについて

本書に記載されている社名および商標名は、
それぞれ各社の登録商標および商標です。

各部の名称



アドバンスト ヨステップ レッスン
メトロノーム
連指音声
左手/トラック1
右手/トラック2
練習フレーズ
採点1
採点2
採点3
ステップ1
ステップ2
ステップ3
スプリット
レイヤー
キーライト
設定
タッチレスポンス
伴奏の音量
チューニング
MIDI
時計/タイマー
カラオケ
マイクの音量
MIC
演奏/停止
エコー
キーコントロール
トランスポーズ
リズム
トーン
いいえ
はい
※2
※1
CD-R/RW PLAYBACK
MUSICAL INFORMATION SYSTEM
モード
フルレンジコード
フィンガード
カシオコード
ノーマル
ソング/モリー
リバーブ/コーラス
デモ演奏
CD
ソングバンク
ピアノバンク
全体の音量
CDの音量
リピート
早戻し
早送り
一時停止
演奏/停止
イントロ
ノーマル/フィルイン
バリエーション/フィルイン
シングロ/エンディング
スタート/ストップ
CD/ソング/ピアノバンク
リズム
テンポ
データアクセス

NOTE

- 本機には、演奏／停止ボタンが２つあります。本書では、カラオケボタンの下にある方を<>付きで“<演奏／停止>”ボタンと表記して区別してあります。

① 全体の音量つまみ☞17
② CDの音量つまみ☞23

● CD／ソング／ピアノバンク／リズムコントローラー
③ リピートボタン☞21
イントロボタン☞37
④ 早戻しボタン☞21、
ノーマル／フィルインボタン☞37
⑤ 早送りボタン☞21、
バリエーション／フィルインボタン☞37
⑥ 一時停止ボタン☞20、
シンクロ／エンディングボタン☞37, 38
⑦ 演奏／停止ボタン☞11, 19〜21, 23, 28〜32、
スタート／ストップボタン
☞33, 34, 37, 40〜43
⑧ リズムコントローラーランプ☞10
⑨ CD／ソング／
ピアノバンクコントローラーランプ☞10

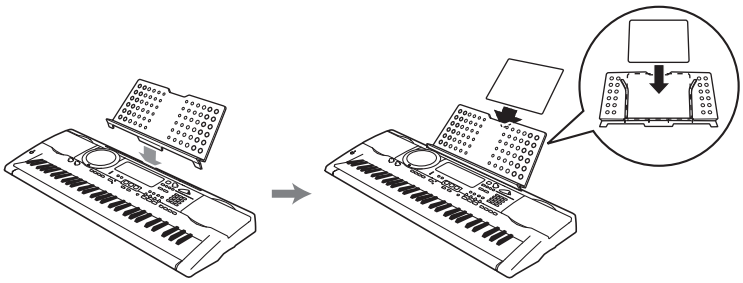
⑩ モードスイッチ☞11, 17, 34
⑪ ソングメモリーボタン☞39
⑫ リバーブ／コーラスボタン☞18
⑬ CDボタン☞23, 25
⑭ ソングバンクボタン☞19
⑮ ピアノバンクボタン☞12, 20, 32
⑯ テンポボタン☞20
⑰ データアクセスランプ☞48

● アドバンスト 3ステップレッスン
⑱ メトロノームボタン☞32
⑲ 運指音声ボタン☞31
⑳ 左手ボタン☞28〜30、
トラック1ボタン☞39
㉑ 右手ボタン☞28〜30、
トラック2ボタン☞39
㉒ 練習フレーズボタン☞31
㉓ 採点1ボタン☞29
㉔ ステップ1〜3ボタン☞29〜31
㉕ 採点2ボタン☞30
㉖ 採点3ボタン☞30
㉗ スプリットボタン☞44, 45
㉘ レイヤーボタン☞44, 45
㉙ キーライトボタン☞18
㉚ 設定ボタン☞46, 47, 50〜52
㉛ カラオケボタン☞24
㉜ マイクの音量つまみ☞24
㉝ マイク端子(MIC)☞24
㉞ <演奏／停止>ボタン☞25
㉟ エコーボタン☞25
㊱ リズムボタン☞33
㊲ トーンボタン☞17
㊳ キーコントロール／トランスポーズボタン☞25, 46
㊴ スピーカー
㊵ CDドライブ☞12, 23
㊶ 液晶表示
㊷ 電源ランプ☞3, 11
㊸ 電源ボタン☞11, 14, 17
㊹ 音名☞35
㊺ 打楽器☞17

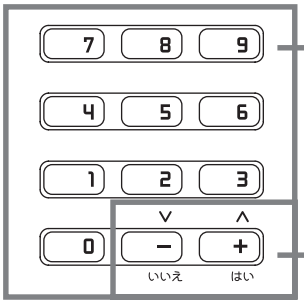
※1 譜面立ての使い方

譜面立ては、本体の上面にある溝に差し込んでお使いください。

■リストシートの収納について
お使いにならないリストシートは、譜面立ての裏側にある溝へ差し込んで収納できます。



※2

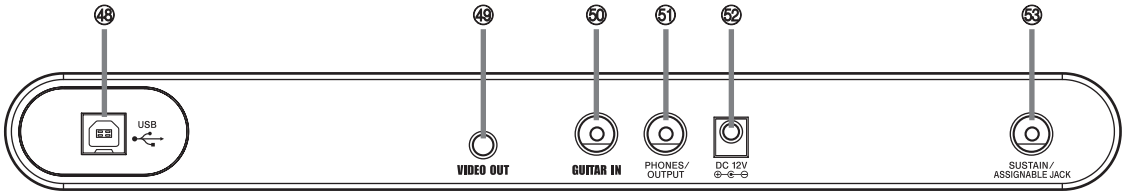


㊻ 数字ボタン
☞17, 19, 20, 32, 33, 47, 49〜51

㊼ ＋／－ボタン
☞17, 19, 20, 32, 33, 47, 49〜51

- 表示中の番号や数値を変更するときに押します。
- 負の数は＋／－ボタンでのみ指定できます。

【背面図】



㊽ USB端子(USB)☞48
㊾ ビデオアウト端子(VIDEO OUT)☞16
㊿ ギターイン端子(GUITAR IN)☞16
51 ヘッドホン／アウトプット端子☞15
(PHONES/OUTPUT)
52 電源端子(DC 12V)☞13
53 サスティン／アサイナブル端子
(SUSTAIN／ASSIGNABLE JACK)☞15

コントローラーランプについて

⑧ リズムコントローラーランプ

リズムボタンを押すと、リズムコントローラーランプが点灯し、③〜⑦のボタンがリズムをコントロールする機能として働くことを示します。

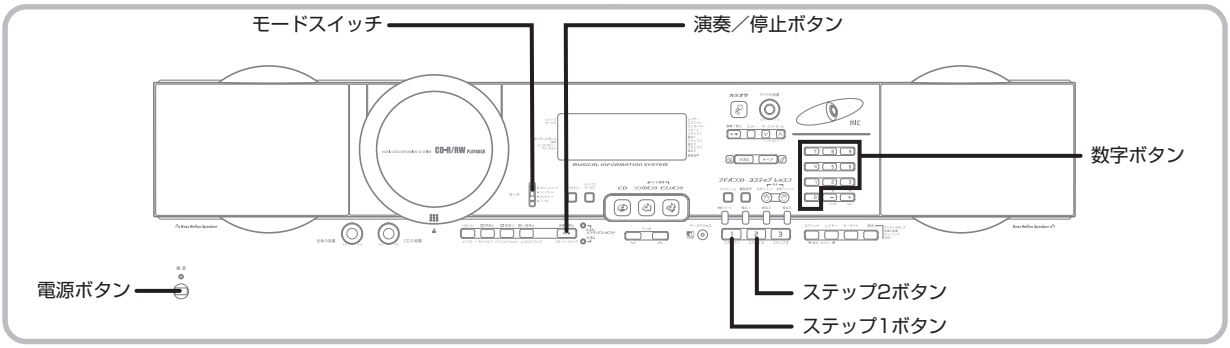
⑨ CD／ソング／ピアノバンクコントローラーランプ

CD、ソングバンク、ピアノバンク、カラオケボタンのいずれかを押すと、CD／ソング／ピアノバンクコントローラーランプが点灯し、③〜⑦のボタンが曲をコントロールする機能として働くことを示します。

NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 液晶表示素子はその特性上、見る角度によってコントラストが変わります。本機ではイスに座ったときの演奏姿勢で見やすくなるように初期設定されています。なお、お客様のお好みでコントラストを調整することはできません。

すぐ使いたい方に

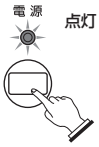


内蔵曲を練習してみる

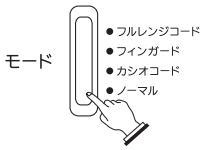
本機に内蔵の90曲の自動演奏曲を、光のガイドに従って弾きながら、3つのステップでマスターできます。ここではステップ1、2を使って演奏してみましょう。

1 電源ボタンを押して電源をオンにします。

- 電源ランプが点灯します。



2 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。



3 ソングバンク／カラオケリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号（2桁）を押します。

- ソングバンク／カラオケリストは、巻末にも記載されています（60ページ）。

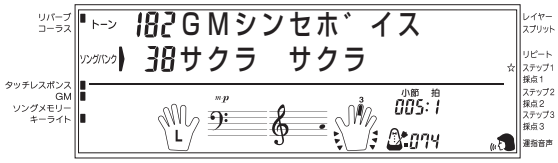
例：“38　さくらさくら”の場合は、“3→8”の順番に押します。

4 ステップ1ボタンまたはステップ2ボタンを押します。

- カウントが鳴り待機状態になります。初めに押さえるべき鍵盤が点滅します。
- 指番号が音声でガイドされます（「運指音声」31ページ参照）。

5 メロディーを弾いてみましょう。

- 液晶表示に押さえるべき鍵盤、指使い、音の高さが表示されます。



●操作4でステップ1を押したとき

- 鍵盤を押してください。

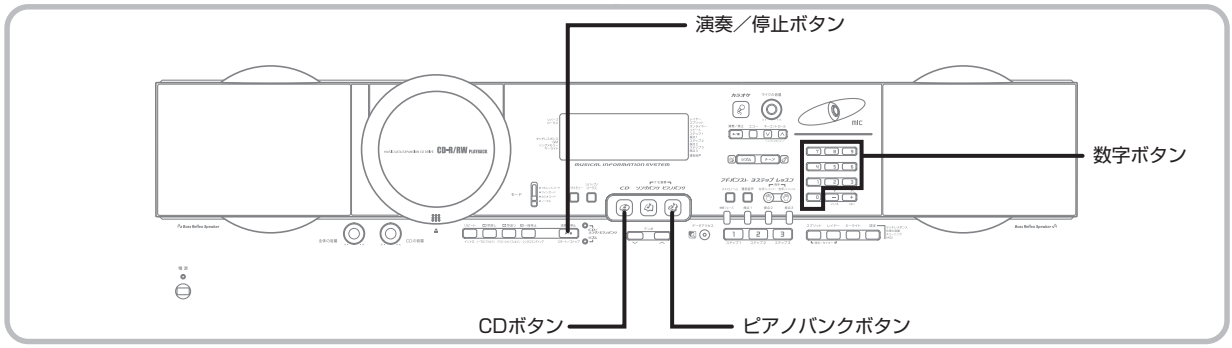
- メロディーを弾く速さに合わせて、伴奏（または左手パート）がついていきます。
  点灯していない鍵盤を押してもメロディーが鳴ります。

●操作4でステップ2を押したとき

- 点灯している鍵盤を押してください。

- 点灯している間、鍵盤を押さえます。
  （ピアノバンクの曲を選んだときは、鍵盤を押すと同時に点灯が消えます。）
- 次に押さえる鍵盤が点滅します。
- 正しい鍵盤を押さえて弾くと、伴奏（または左手パート）がついてきます。

6 レッスンを途中で止めるときは、演奏／停止ボタンを押します。



ピアノ曲を弾きたいときには

1 前記手順の操作2の後、ピアノバンクボタンを押します。
- ピアノバンクボタンが点灯します。
- 画面上に“ピアノバンク”が点灯します。

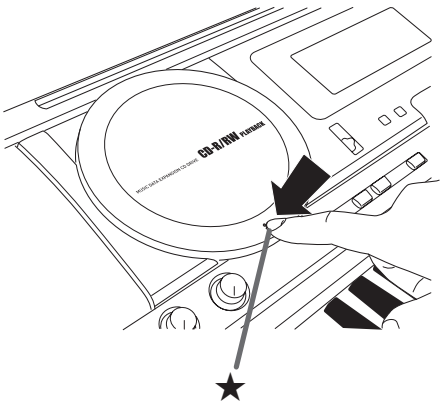
2 ピアノバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで曲の番号（2桁）を押します。
- ピアノバンクリストは、巻末にも記載されています（60ページ）。

3 引き続き、前記手順の操作４以降を行います。

付属のCDを再生してみる

本機のCDドライブで付属のCDを再生してみましょう。

1 図の★の部分を押して、CDドライブの蓋を開けます。



2 CDをCDドライブへ入れます。
- ラベル面を上にして入れます。

3 CDドライブの蓋を閉めます。
- CD読み込み中は、CDボタンが点滅します。
- CDボタンが赤く点灯し、画面に曲番号と曲名が表示されます。

4 数字ボタンで、曲の番号を入力します。

5 演奏／停止ボタンを押します。
- 選んだ曲が再生されます。
- CD再生中は、CDドライブの蓋を開けないでください。

6 再生を止めるには、もう一度演奏／停止ボタンを押します。

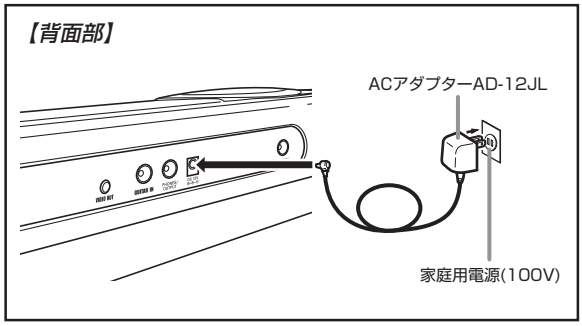
電源について

本機は家庭用 100V 電源、電池が使える 2 電源方式です。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

家庭用100V電源で使うときには

本機指定の AC アダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式：AD-12JL



なお、AC アダプターをご使用になるときは、以下の点にご注意ください。

⚠警告

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機指定の AC アダプターを使用する
- 電源は、AC100V (50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手で AC アダプターに触れない
- AC アダプターは水のかからない状態で使用する
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かない

⚠注意

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプター本体を持って抜く）
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

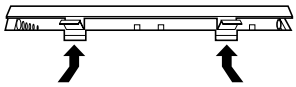
重要

- **ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。**
- **ACアダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。**

電池で使うときには

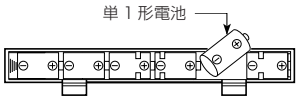
電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

1 本機底面部の電池ケースのフタをはずします。

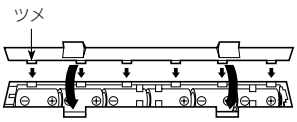


2 単 1 形電池 6 本を入れます。

- ⊕ ⊖ の向きに注意してください。



3 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。



電池について

●電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。

- アルカリ電池使用時‥‥約４時間※

※ 常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

⚠警告

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる

⚠注意

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

オートパワーオフ機能／電源切り忘れのお知らせ機能

オートパワーオフ機能について

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。
無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約６分で自動的に電源が切れます。
この場合、電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

NOTE

- アダプターを使用しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

オートパワーオフ機能をキャンセルするには

1 トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- このときは、放置しておいても電源が切れたりすることはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- 電源を入れ直すとオートパワーオフ機能が働くようになります。

電源切り忘れのお知らせ機能

電源を入れたまま本機を放置すると、約６分後に鍵盤が光って、電源の切り忘れをお知らせします。（このとき、音は出ません。）この場合、各ボタンや鍵盤を押すと、電源を入れたときの状態に戻ります。

NOTE

- 電池を使用しているときは、電源切り忘れのお知らせ機能は働きません。

電源切り忘れのお知らせ機能をキャンセルするには

1 設定ボタンを押して、“デモ２”を表示させます。

2 ＋／－ボタンで、設定を“oFF”にします。

3 この表示を消すには、設定ボタンを押します。

ソングメモリー内容について

ソングメモリー内容の保持

ソングメモリー機能を使って本機に記憶させた内容は、電源ボタンの操作やオートパワーオフ機能の働きで電源が切れた後も保たれます。

電源の役割

ソングメモリーの内容は、本機への電源供給が続いている限り保たれます。電池を入れずにACアダプターを抜いたり、電池作動中に電池が消耗した場合など、本機への電源供給が絶たれると、各設定は初期状態に戻り、ソングメモリーの記憶内容は消去されます。

記憶内容を保つためには

本機への電源供給が途切れると、ソングメモリーの記憶内容は消去されます。記憶内容を保つためには、下記の事項を守ってください。

- 電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない電池を入れておいてください。

なお、上記の操作は電源ボタンで電源を切ってから行ってください。

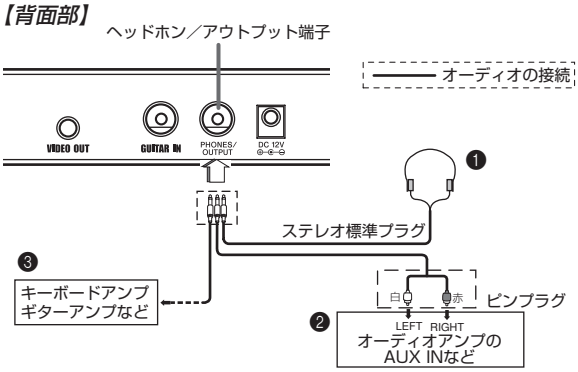
接続について

ヘッドホン／アウトプット端子について

準備

- 接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】



●ヘッドホンをつなぐには（図❶）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

●オーディオ機器と接続するには（図❷）

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオ標準プラグのものをご利用ください。（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）通常はオーディオ機器側のインプットセレクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

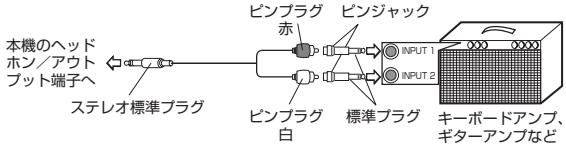
●楽器用アンプと接続するには（図❸）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード※を使用します。

※本機につなぐ側：ステレオ標準プラグのもの
アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする。
（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

【接続例】

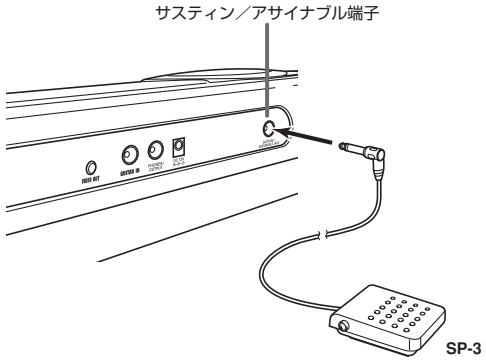


パソコンとの接続について

パソコン（ソフトウェアシーケンサー）やシーケンサー（ハードウェアシーケンサー）に接続して使用することもできます（48ページ「パソコンとの接続について」参照）。

アサイナブル端子について

アサイナブル端子にサスティンペダル（SP-3またはSP-20）を接続すると、下記のような使い方ができます。
それぞれの設定方法については、「アサイナブル端子の設定」（51ページ）をご参照ください。



●サスティンペダルとして使うと

- ピアノなど減衰音では…ピアノのダンパーペダル同様、鍵盤で弾いた音に余韻の残る効果。
- オルガン系の持続音では…ペダルを踏んでいる間、鍵盤で弾いた音が鳴り続ける「ホールド効果」。

●ソステヌートペダルとして使うと

- サスティンペダルと同様の効果が、鍵盤で弾いた音にかかります。
- サスティンペダルとの違いは効果をかけるタイミングにあります。
- 鍵盤を押してから、その鍵盤を離す前にペダルを踏めば、その音に対してのみ効果がかかります。

●ソフトペダルとして使うと
鍵盤で弾いた音の音量が小さくなります。

●リズムのスタート／ストップとして使うと
ペダル操作で、リズムのスタート／ストップボタンと同じ働きをします。

NOTE

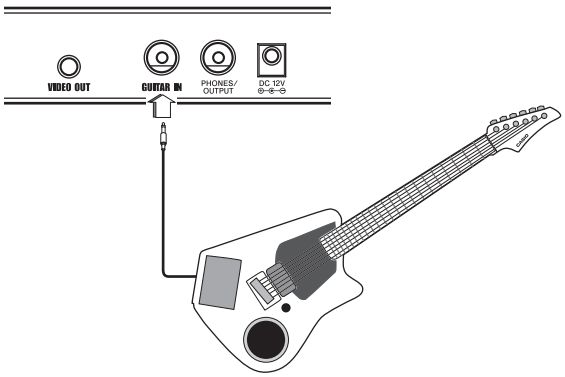
- 指定のペダルを本機へ接続してペダルを踏む操作をすると、画面上にペダルマーク（𝄏.）が表示されます（サスティンペダル時のみ）。

ギターイン端子について

ギターイン端子にエレキギターを接続して、本機をギターアンプとして使えます。

NOTE

- ギターイン端子には、ギター以外の楽器を接続しないでください。本体の故障の原因となることがあります。



マイク端子について

マイク端子への接続については、24ページの「マイクを使って歌ってみましょう」を参照してください。

ビデオアウト端子について

本機をビデオ入力端子付きのテレビと接続すれば、テレビ画面でレッスンした曲の採点結果※1を見たり、歌詞※2を見たりできます。

※1　内蔵曲や付属のCD-ROM収録の曲での採点
※2　内蔵曲や付属のCD-ROM収録の歌詞付きの曲、または市販の歌詞付きSMFデータ使用時

テレビと接続するには

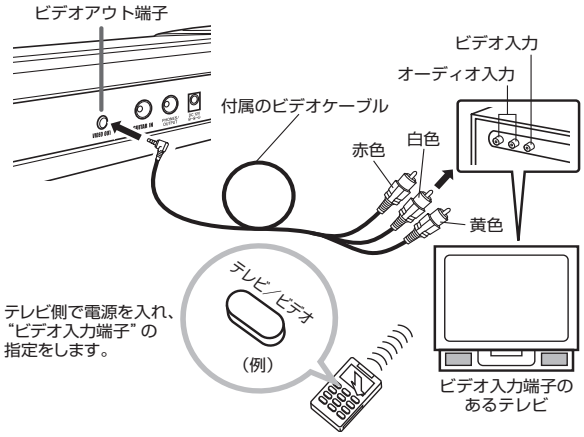
重要

- **接続は、本機とテレビの電源を切った状態で行ってください。**
- **本機をテレビの上や近くに置くと、テレビの画面に色のムラなどがでることがあります。本機をテレビから離してご使用ください。**

付属のビデオケーブルを使って、下図のように本機とテレビを接続します。

- テレビ側で電源を入れて、"ビデオ入力端子"の指定をします。
- 本機の電源を入れます。

【背面部】



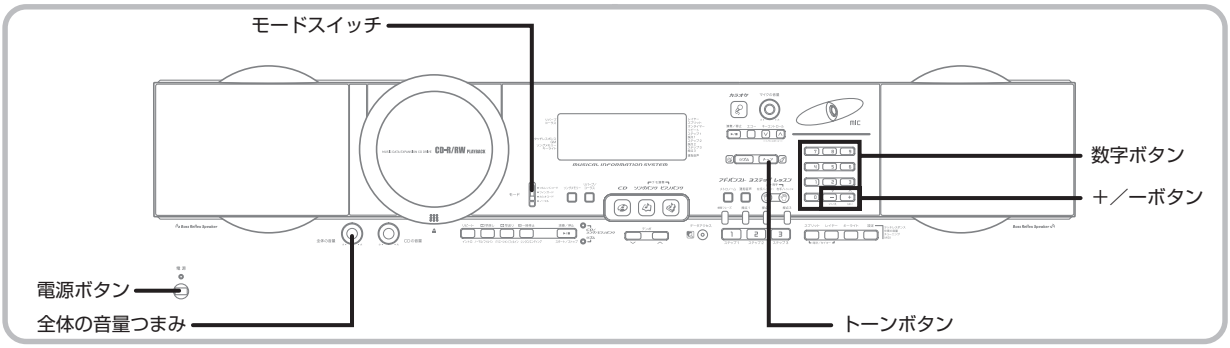
重要

- **ビデオ入力端子については、テレビの取扱説明書を参照してください。**
- **本機のビデオアウト端子は、NTSC方式（日本のTV放送のカラー方式）対応です。**
- **TV放送のカラー方式が本機と異なるテレビに接続すると、画像が正確に表示されません。海外でのご利用時は、本機を普段お使いになる地域が本機のカラー方式に対応しているか確認してください。**

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

基本的な操作をしてみましょう



ここでは本機の基本操作について説明します。

音を出してみましょう

1 電源ボタンを押します。

2 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。

3 全体の音量つまみを調節します（弾く前は小さめにしておきましょう）。

4 鍵盤を弾いてみましょう。

- 電源を入れた直後は、ソングバンクモードになります。鍵盤の音色は、000番のステレオピアノ音色になります。

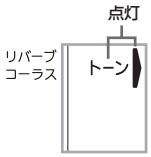
音色を選ぶには

本機には264種類の音色が内蔵されています。

1 トーンリストから鳴らしたい音色を選び、その番号を確認します。

- 本体上のトーンリストでは、音色名が省略されています。巻末の「トーンリスト」（55ページ）に全音色が記載されています。
- 本機をテレビと接続すれば、テレビ画面でトーンリストを表示できます。テレビとの接続については、16ページの「ビデオアウト端子について」を参照してください。

2 トーンボタンを押します。



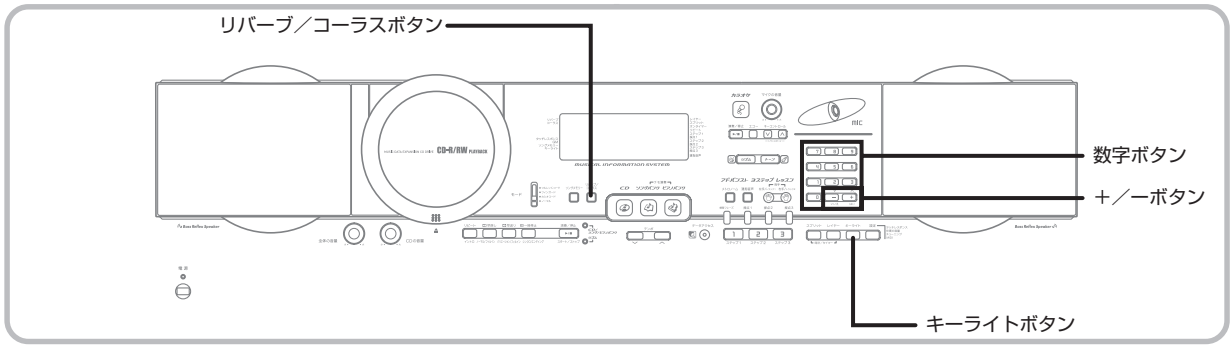
3 数字ボタンを使って、音色の番号を数字（3桁）で入力します。

例：“049 アコースティックベース”なら、“0→4→9”と入力します。

トーン 049アコースティックベース

NOTE

- 音色表示中に＋／－ボタンで音色番号を1つずつ切り替えて呼び出すこともできます。
- 音色番号256 ～ 263のドラムセットは、鍵盤ごとに異なる打楽器が割り当てられています。（鍵盤上の打楽器イラストおよび61ページ参照）



音に効果（エフェクト）をかけるには

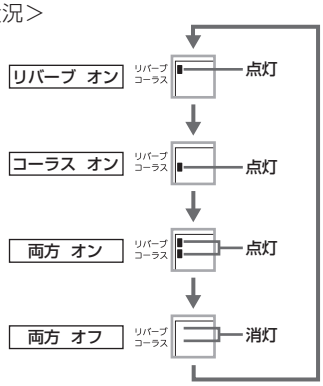
本機には、以下の２種類のエフェクトがあります。それぞれオン／オフ、4タイプから設定できます。タイプの詳細は、以下の「エフェクトリスト」を参照してください。

リバーブ・・・残響の効果
コーラス・・・音が広がるような効果

1 リバーブ／コーラスボタンをボタンを押すごとに、設定が切り替わります。

- エフェクトの設定状況は、画面上のリバーブ、コーラスインジケーターで確認できます。

＜設定状況＞



2 リバーブ、コーラスインジケーターを点灯させ、数秒以内に数字ボタンまたは＋／－ボタンを使って、各エフェクトのタイプを選びます。

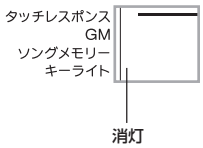
＜エフェクトリスト＞

リバーブ	0：Room1 1：Room2 2：Hall1 3：Hall2
コーラス	0：Chorus1 1：Chorus2 2：Chorus3 3：Chorus4

鍵盤の光を消すには

1 キーライトボタンを押すごとに、オン／オフが切り替わります。

- キーライトをオフにすると、画面上のキーライトインジケーターが消灯します。

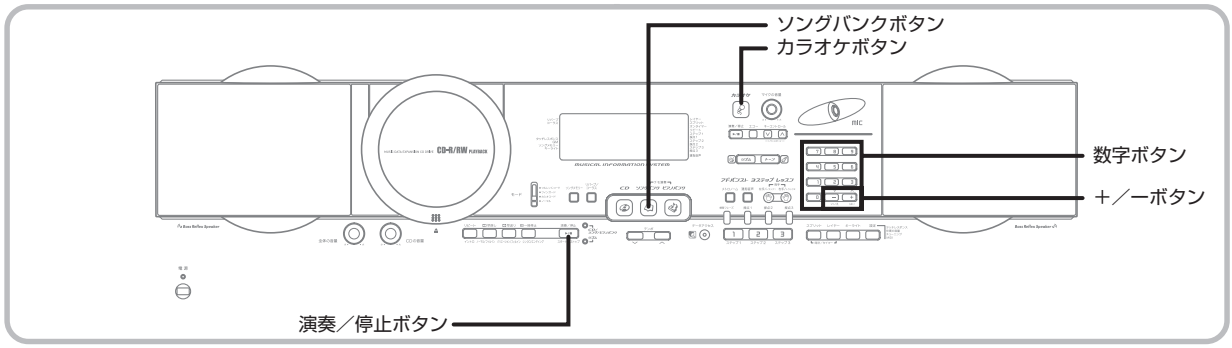


同時発音数について

本機は、同時に最大 32 音まで発音します。ただし、一部の音色では２種類の音色を組み合わせているため最大16音になるものもあります。

- リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

内蔵曲を鳴らしてみましょう



本機は90種類の自動演奏曲を内蔵しています。その中からお好きな曲を選んで、聴いたり、練習したり、歌ったりできます。内蔵曲は、次のように2つのグループにわかれています。

- ソングバンク／カラオケグループ：40曲
  自動伴奏曲です。マイクを接続してカラオケモードにしたときは、ボーカル曲※として歌うことができます。
  ※カラオケボタンを押すと、メロディー・パートの音量が小さくなり、音色が歌のガイドとして聴き易い音色に変更されます。
- ピアノバンクグループ：50曲
  ピアノ曲です。練習曲集（20曲）と名曲集（30曲）にわかれています。

ソングバンクの曲を聴いてみましょう

準備

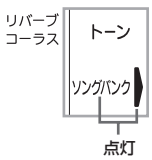
- 全体の音量（17ページ）を調節します。

1 ソングバンク／カラオケリストから曲を選び、その番号を確認します。

- ソングバンク／カラオケリストは、巻末にも記載されています（60ページ）。

2 ソングバンクボタンを押してソングバンクモードにします。

- ソングバンクボタンが点灯します。



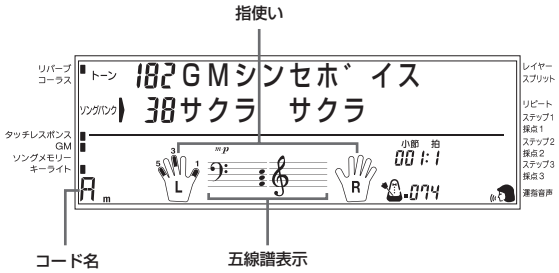
3 数字ボタンで、曲の番号（2桁）を入力します。

例：“38　さくら　さくら”なら“3→8”と入力します。

NOTE

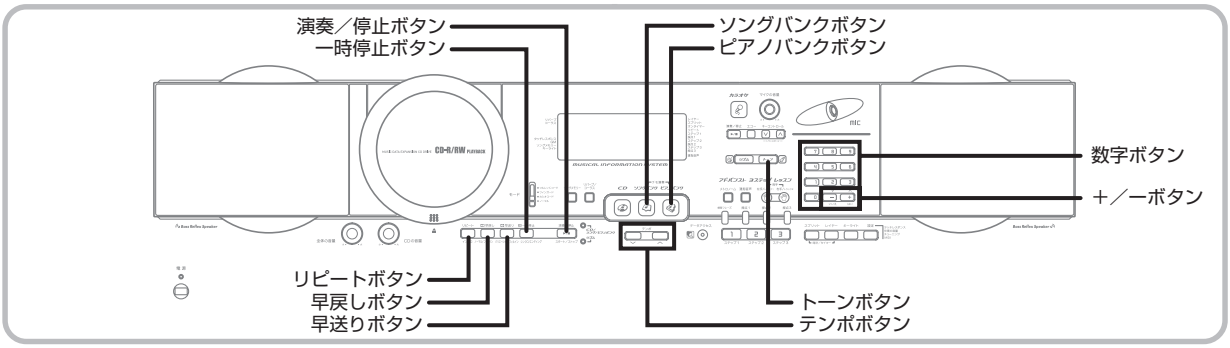
- 電源を入れたときは00番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、＋／－ボタンでも指定できます。

4 演奏／停止ボタンを押すと自動演奏が始まります。



5 演奏／停止ボタンを押すと自動演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。



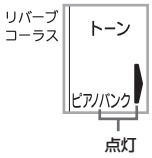
ピアノバンクの曲を聴いてみましょう

1 ピアノバンクリストから曲を選び、その番号を確認します。

- ピアノバンクリストは、巻末にも記載されています（60ページ）。

2 ピアノバンクボタンを押して、ピアノバンクモードにします。

- ピアノバンクボタンが点灯します。



NOTE

- ピアノバンクボタンを押すと鍵盤の音色がステレオピアノ（音色番号 000）になります。
- レイヤー、スプリット機能もオフになります。

3 数字ボタンで、曲の番号（2 桁）を入力します。

NOTE

- 電源を入れたときは 00 番の曲が選ばれています。
- 曲番号は、＋／－ボタンでも指定できます。

4 演奏／停止ボタンを押すと、演奏が始まります。

5 演奏／停止ボタンを押すと演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。

テンポを調節するには

テンポ（1 分間に演奏される拍数）を 30 ～ 255 の範囲で調節します。テンポの設定は、ソングバンク、ピアノバンク、3 ステップレッスン、コード自動伴奏、メモリー機能、メトロノーム機能に対して有効です。

1 テンポボタンを押します。

∧・・・数値が増える（テンポが速くなる）
∨・・・数値が減る（テンポが遅くなる）
- テンポ：1 分間に演奏される四分音符の数です。

NOTE

- テンポ値の点滅中は、数字ボタン※、＋／－ボタンでも調節できます。
  ※“090”のように 3 桁で入力します。
- テンポボタンの∧／∨ボタンを同時に押すと、現在選ばれている曲のおすすめのテンポに戻ります。
- ピアノバンクの曲をおすすめのテンポで演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。テンポを調節すると、一定のテンポで演奏します。

曲を一時停止するには

曲の演奏中に一時停止ボタンを押すと、演奏が一時的に停止します。もう一度ボタンを押すと、止めた位置から演奏を再開できます。

1 曲の演奏中に一時停止ボタンを押します。

- 曲の演奏が止まります。

2 もう一度、一時停止ボタンを押すと、曲が止まった位置から演奏を再開します。

曲を早戻しするには

現在演奏している位置から前の方向へ 1 小節単位で移動します。

1 曲の演奏中（または一時停止中）に早戻しボタンを押し続けます。

- 1 小節単位で早戻しを始めます。
- 早戻し中の小節数と拍数を表示します。

2 早戻しボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

- 再生中に早戻しボタンを短く押すと少し前へ戻ります。
- 再生処理の都合上、早戻しボタンを押してから早戻しが始まるまでに、時間のかかることがあります。

曲を早送りするには

現在演奏している位置から後の方向へ 1 小節単位で移動します。

1 曲の演奏中（または一時停止中）に早送りボタンを押し続けます。

- 1 小節単位で早送りを始めます。
- 早送り中の小節数と拍数を表示します。

2 早送りボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

- 再生中に早送りボタンを短く押すと少し先へ進みます。

フレーズを繰り返し聴くには

曲の演奏中に小節単位で、特定のフレーズ（区間）を繰り返し再生させることができます。

1 曲の再生中に、リピートの開始点にしたい小節でリピートボタンを押します。

- 画面のリピートインジケーターが点滅します。

2 リピートの終点（折り返し点にしたい小節）で、もう一度リピートボタンを押します。

- リピートを解除するには、もう一度リピートボタンを押して、画面のリピートインジケーターを消灯させます。

メロディーの音色を変えるには

本機には 264 種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。音色の変更は、曲の演奏中でも、一時停止中でも行えます。

1 トーンボタンを押します。

2 トーンリストから音色を選び、数字ボタンで音色番号を入力します。

NOTE

- ＋／－ボタンでも音色を切り替えられます。
- ピアノバンクの曲（両手演奏の曲）については、左右のパートとも同じ音色が割り当てられます。
- 同じ曲をもう一度選び直すと、あらかじめその曲に設定されている音色に戻ります。

デモ演奏を聴くには

ソングバンクの曲をすべて通して聴くことができます。

1 ソングバンクボタンとピアノバンクボタンを同時に押します。

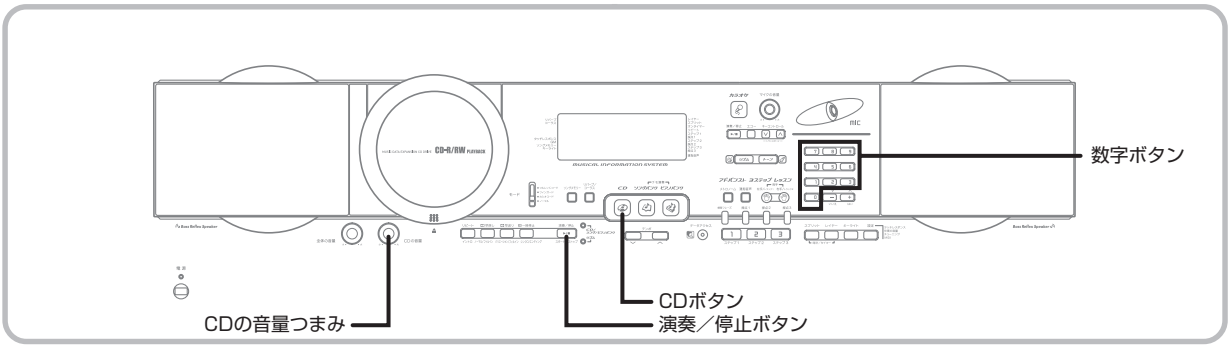
- ソングバンクの曲を 00 番のから全て自動演奏します。
- 曲の演奏中は、ソングバンクボタンが点滅します。
- 曲の演奏中は、本機の画面や本機と接続しているテレビ画面に歌詞が表示されます。

2 演奏／停止ボタンを押して、自動演奏を停止します。

NOTE

- 数字ボタンまたは＋／－ボタンを押すとお好きな曲を選んで聴けます。

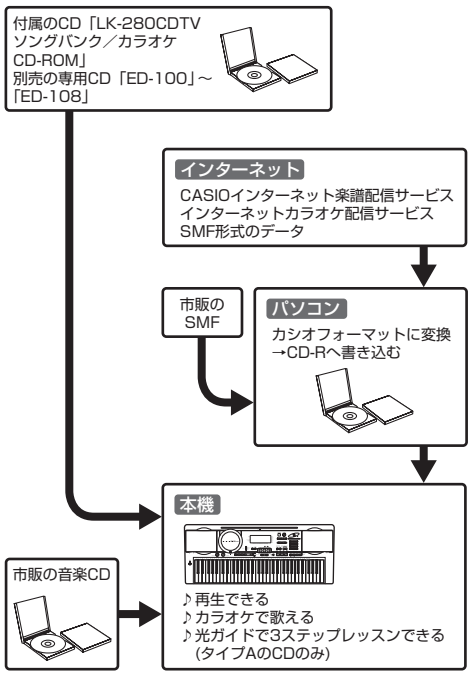
CD ドライブを使うには



本機のCDドライブを使えば、お手持ちの音楽CDを聴いたり、本機ソングバンク用の曲データCD※で、曲を増やして、光ナビで練習したり、歌ったりできます。

※付属のCD「LK-280CDTV ソングバンク／カラオケCD-ROM」や、別売のCD「EDシリーズ」をご利用ください。

＜別売CDのEDシリーズについて＞
ED-100～ED-108では、テレビ接続して本機をご使用の場合、テレビ画面上に歌詞は表示されませんので、ご注意ください。



本機で使用できるCDの種類について

次のCDを使用できます。

データの種類	使用メディア	タイプ
音楽データ	CD-DA	B
カシオのソングバンク曲のデータ	CD-ROM （本機付属品／別売品） CD-R/RW （カシオのホームページからダウンロードしたデータをご自分でCDに書き込みしたもの）	A
自作や市販のSMFデータをソングバンク曲の形式に変換したデータ	CD-R／CD-RW	A

タイプについて
本書では、これらのCDを以下のようにタイプ分けして説明します。

■タイプA
カシオ用フォーマットの曲データが収録されたもの。3ステップレッスン用の曲として、光ガイドと一緒に使えます。

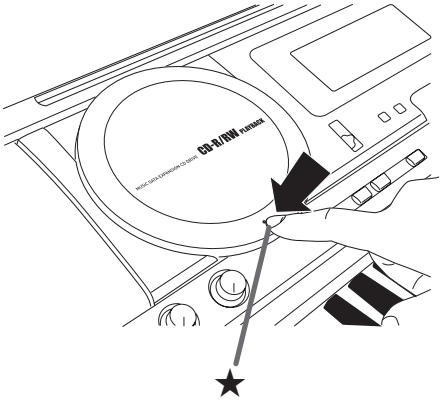
■タイプB
音楽データが収録されたもの。再生したり、曲に合わせて歌ったり、演奏したりできますが、レッスンには使えません。

書き込みしたCDに関する制約事項

- 書き込みできる曲数は、最大99曲までです。
- カシオフォーマットの曲データだけを書き込みしたものをお使いください（他の種類のフォーマットを一緒に入れないようにしてください）。

CD ドライブに CD を入れる

1 図の★の部分を押して、CD ドライブの蓋を開けます。



2 再生したい CD を CD ドライブへ入れます。

- ラベル面を上にして入れます。

3 CD ドライブの蓋を閉めます。

- CD 読み込み中は、CD ボタンが点滅します。

CD がタイプ A の場合

- CDボタンが赤く点灯し、画面に曲番号と曲名が表示されます。

CD がタイプ B の場合

- CD ボタンが黄色く点灯し、画面に曲番号が表示されます。

曲を選んで再生するには

準備

- CD ドライブに再生したい CD を入れます。
- 再生音量を調整します。
  - CD がタイプ A の場合

    47ページの「伴奏 / 内蔵曲 /CD(タイプ A)の音量を変えるには」を参照してください。
  - CD がタイプ B の場合

    CD の音量つまみを調整します。

NOTE

- CD再生中は、CD ドライブの蓋を開けないでください。

1 CD ボタンを押します。

- CD が CD ドライブに入っていない場合は、画面に“ディスクガアリマセン”と表示されます。

2 数字ボタンで、曲の番号を入力します。

3 演奏／停止ボタンを押します。

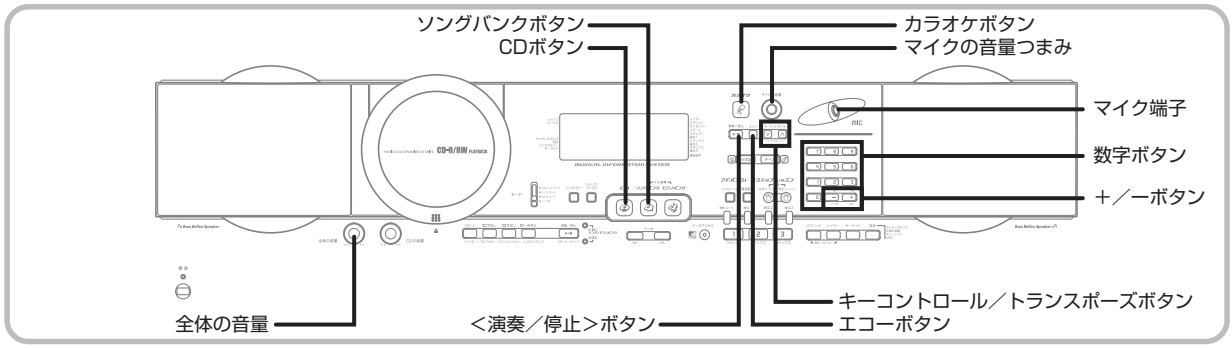
- 選んだ曲が再生されます。
- " 削除確認メッセージ " が表示される事があります。（*NOTE* 参照）

4 再生を止めるには、もう一度演奏／停止ボタンを押します。

NOTE

- CDの操作中、本体のメモリ容量が足りない場合、ソングバンクのユーザーエリア（NO.40～49）へ保存されているすべての曲データの削除確認メッセージが表示されます。削除するときは＋（イエス）ボタンを、しないときは－（ノー）ボタンを押してください。（タイプ A の CD のみ。曲の再生／レッスン／採点開始時。）
- 曲の早戻し／早送り、一時停止やリピートなどの操作は、本体の内蔵曲を操作する場合と同じです。20～21ページを参照してください。

マイクを使って歌ってみましょう



内蔵の自動演奏曲やCDの演奏をバックに、カラオケを楽しむことができます。

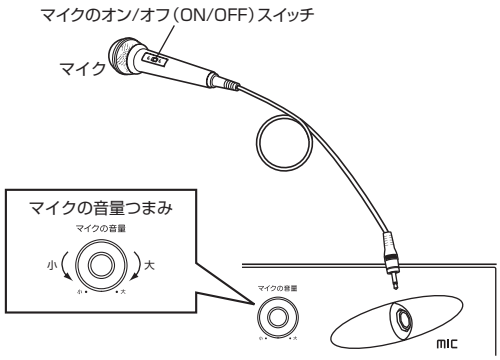
マイク端子について

マイク端子に別売のマイクを接続すれば、自動演奏曲や付属のCD-ROM内蔵の曲による演奏でカラオケが楽しめます。マイクを接続するときはマイクボリュームを絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

1 マイクを接続するときはマイクの音量つまみを“小”の方向に絞っておきましょう。

2 マイクのオン/オフ（ON/OFF）スイッチを“オン（ON)”にします。

3 マイクの音量つまみで適切な音量に調整しましょう。



重要

- **マイクを使用しないときは、オン/オフ（ON/OFF）スイッチを“オフ（OFF)”にして、マイクをマイク端子から抜いてください。**

●ハウリングについて

下記のようなことを行うと、キーンという音（ハウリング）が発生します。

- マイクを手でおおう。
- マイクをスピーカーに近づける。

このようなときは、マイクの柄の部分を持つようにし、マイクをスピーカーから遠ざければ鳴りやみます。

●ノイズについて

蛍光灯などの近くでマイクを使用するとノイズ(雑音)が発生する場合があります。このような時は、蛍光灯などのノイズを発生させている場所からマイクを離すことでノイズを拾わず、ノイズは鳴らなくなります。

操作手順

準備

- 全体の音量（17ページ)、伴奏／曲の音量（47ページ)、マイクの音量（24ページ）を調節します。

1 ソングバンク／カラオケリストやＣＤ から曲を選び、番号を確認します。

- ソングバンク／カラオケリストは、巻末にも記載されています(60ページ)。

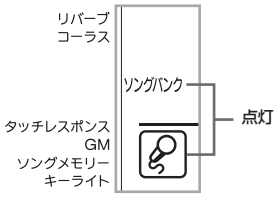
2 カラオケボタンを押し、カラオケモードにします。

- カラオケボタンが点灯します。

3 カラオケの音源を選びます。

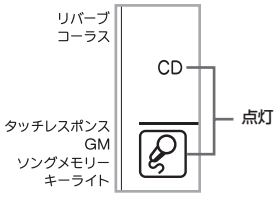
＜内蔵曲を使う時＞
ソングバンクボタンを押して、“ソングバンク”インジケーターを点灯させます（カラオケ ソングバンクモード）。

- ボタンを押すごとに、インジケーターが点灯／消灯します。



＜ＣＤを使う時＞
ＣＤボタンを押して、“ＣＤ”インジケーターを点灯させます（カラオケ ＣＤモード）。

- ボタンを押すごとに、インジケーターが点灯／消灯します。



4 数字ボタンで曲の番号（２桁）を入力します。

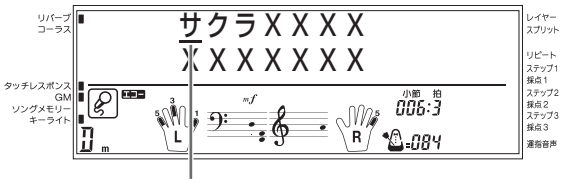
NOTE

- 曲番号は、＋／－ボタンでも指定できます。

5 ＜演奏／停止＞ボタンを押すと、演奏が始まります。

- 歌詞のある曲を選んだ場合、画面が歌詞表示に切り替わります。

例）



現在演奏している所

- マイクを使って、曲にあわせて歌ってみましょう。
- カラオケボタンを押すと、メロディーパートの音量が小さくなっています。音色も歌のガイドとして聴き易い音色に変更されます。
- カラオケCDモードでは、CDのタイプによって次のようになります。

タイプＡの場合：カラオケソングバンクモードと同様に、メロディーパートの音量が小さくなります。
タイプＢの場合：ボーカルパートが完全にオフになるタイプや少量で聴こえるぐらいになるタイプなど、曲によって消え方に差があります。

6 キーコントロール／トランスポーズボタン（∧／∨）を押して、曲全体の音の高さを変更できます。

- 使用しているCDがタイプBの場合、音の高さの変更はできません。

∧･･･半音単位で音が上がります。
∨･･･半音単位で音が下がります。

7 ＜演奏／停止＞ボタンを押すと、演奏が止まります。

- 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。
- カラオケボタンを押すと、ボタンが消灯してカラオケモードが解除されます。

NOTE

- 操作６でキーコントロール／トランスポーズボタンの∨と∧を同時に押すと、“00”になります。

テレビ画面の歌詞表示について

本機をテレビと接続してしている場合、歌詞のある曲を選んで再生すると、テレビ画面がカラオケ画面に切り替わり、歌詞が表示されます。

- テレビ画面上にソングバンク／カラオケリストを表示させ、選んだ曲に歌詞が付いている場合は、曲番号の横にマイクアイコンが表示されます。
- 現在演奏している部分は歌詞表示の色が変わります。
- 本機をテレビと接続してしている場合、歌詞付きのSMFデータを選んで再生すると、テレビ画面がカラオケ画面になり、歌詞が表示されます。
- 一部の曲では、本機の画面上で漢字がカタカナで表示されます。

マイクエコーについて

マイクにエコーをかけられます。

1 エコーボタンを押します。

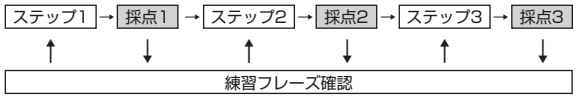
- 画面にエコーアイコンが点灯します。

内蔵曲を練習してみましょう(アドバンスト3ステップレッスン)

本機のアドバンスト３ステップレッスンを使って、内蔵曲やCDの曲を練習し、できばえを採点することができます。

※ CDドライブの使い方や曲の再生については、22ページの「CDドライブを使うには」を参照してください。

<レッスンの流れ>



３ステップレッスン機能について

３ステップレッスンは、内蔵曲を３つのステップに分けて練習していくための機能です。

ステップ１：弾くタイミングを覚えます ☞28ページ

ステップ２：弾く鍵盤、指使いを覚えます ☞29ページ

ステップ３：普通の速さで弾いてみましょう ☞30ページ

練習できるパート

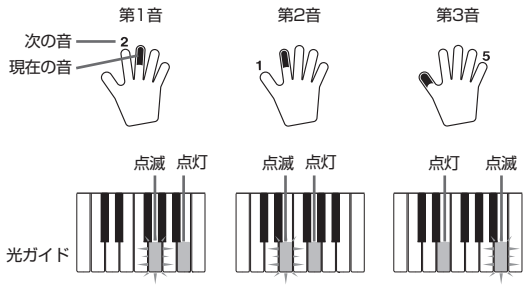
３ステップレッスンでは、右手、左手、両手のすべてのパートを練習できます。

３ステップレッスンでの液晶表示について

３ステップレッスンで自動伴奏の曲を選んでいるとき、鍵盤の光ガイドや液晶表示の五線譜部分で、音の高さ、音の長さが表示されます。同時にその音符を弾くための指使いを液晶表示で確認できます。それぞれの見方は次の通りです。

- 音の高さ ‥‥ 現在点灯している鍵盤が押さえるべき鍵盤です。音の高さは五線譜の表示でも確認できます。指使いの液晶表示は押さえる指の位置が点灯します。
- 音の長さ ‥‥ 鍵盤が点灯してから消灯するまでの時間が、その音の長さになります。五線譜や指使いの表示も同じ間だけ点灯します。
- 次の音 ‥‥‥ 点滅している鍵盤が、次に押さえる鍵盤です。指使いの表示は次に押さえる指の番号が点灯します。
- 同じ音の高さが連続する場合
  ‥‥‥‥‥‥ 鍵盤が前の音の音符の長さだけ点灯した後、一瞬消灯して再び点灯します。五線譜や指使いの表示も同様に点灯します。

例：3、2、1の指の順で弾いた場合



NOTE

- 両手演奏の曲（ピアノバンク）のステップ１と２では、音の長さのガイドは行いません。点灯した鍵盤を押さえると同時に消灯し、次に押さえるべき鍵盤が点滅します。
- 両手演奏の曲のステップ３では音の長さも鍵盤ガイドで示されます。この場合、点灯している鍵盤が押さえる鍵盤で、次に押さえる鍵盤は点滅しません。
- ステップ３では次の音の指番号は表示しません。現在の音の指番号を表示します。

３ステップレッスンのテンポ設定について

３ステップレッスンのテンポは、「テンポを調節するには」（20ページ）の方法で変えることができます。

採点機能について

３ステップレッスンのステップ１、２、３で練習した成果を100点満点で採点してくれる機能です。採点モードで演奏中も、画面上や音声で演奏の評価を確認できます。

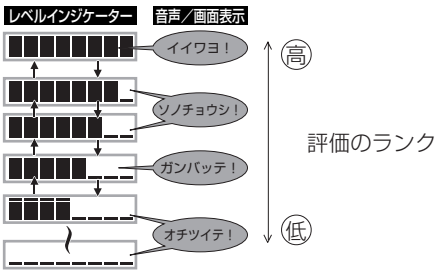
採点モード中の画面表示について

レベルインジケーター：現在の演奏評価が一目でわかります。インジケーターの点灯が多いほど、得点が高いことを表します。

星マーク：採点モード中、各音符ごとにタイミングのずれ具合を知らせてくれます。星マークの点灯が少ないほど、タイミングがずれていることを表します。

音や声のガイドについて

鍵盤を押すタイミングがずれると、演奏している音色が違う音色に変わり、タイミングが悪かったことを知らせてくれます。また採点モード中、現在の演奏に対する評価のランクを音声と表示で知らせてくれます。ランクが上下しそうな場合にも、効果音で知らせてくれます。



正しい鍵盤を押せず、しばらくの間、演奏が止まってしまった場合

採点結果について

曲の始めから最後までの演奏を採点し、総合得点と評価ランクを画面に表示します（評価ランクは音声付き）。得点が高い場合には、効果音が鳴ります。

＜評価ランクの音声／表示と効果音＞

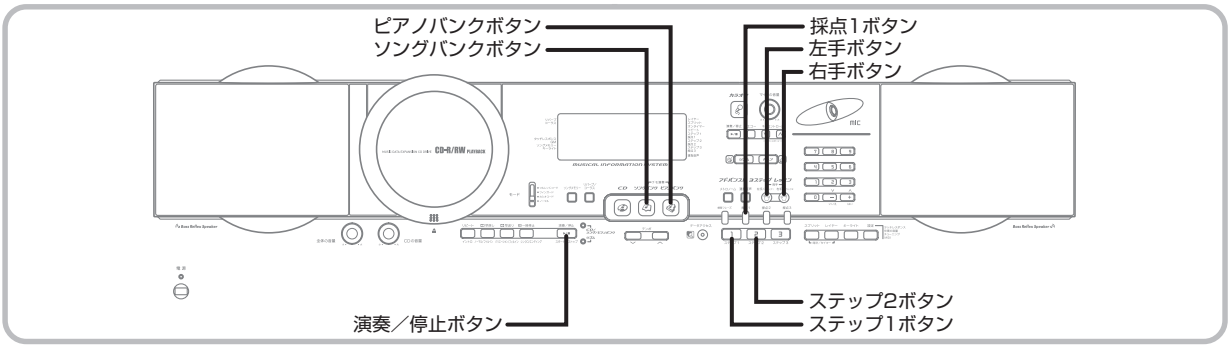
音声／画面表示	効果音
“スバラシイ！”	拍手と歓声
“スゴーイ！”	拍手
“ガンバッタネ！”	無し
“ガンバッテ！”	無し

高 ↑ 評価のランク ↓ 低

- “****”採点を途中で止めた場合に表示されます

NOTE

- 満点の場合は、採点結果の表示時に“パーフェクト！”と表示されます。
- 採点モード中に演奏／停止ボタンを押して演奏を中断した場合は、その時点の得点だけが表示されます。評価ランクの表示や効果音はありません。



ステップ1：弾くタイミングを覚えます

鍵盤を弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここではガイドの点灯する鍵盤にタイミングを合わせて、鍵盤のいずれか１つを続けて押すだけで演奏できます。押しまちがいを気にせずに、鍵盤を弾くタイミングだけ覚えましょう。

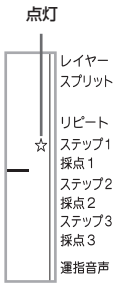
1 レッスンする曲を選びます。

2 右手ボタンまたは左手ボタンを押して、練習したいパートを選びます。

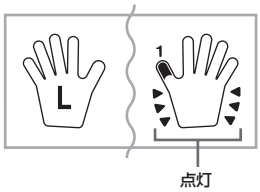
＜両手を同時に練習したい場合＞
右手ボタンと左手ボタンを同時に押します。

- 選んだパートに対応して、画面上の手のL, Rの文字表示が消灯します。

3 ステップ１ボタンを押して、ステップ１のレッスンを開始します。



- レッスンをするパートの手の印の周りにはドットが点灯します。



- カウントの後、（前奏のある曲は前奏に続き）１音目の待機状態になります。
- 片手パートのみをレッスンパートに選んでいる場合は、指番号が音声でガイドされます（「運指音声」34 ページ参照）。

4 鍵盤のいずれか１つを続けて押して、演奏してみましょう。

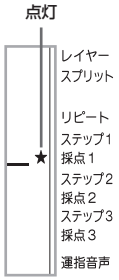
- カウント中および前奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、光のガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏（または左手パート）は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。
- 誤って複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけ音が進行しますのでご注意ください。ただし、複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、１つしか音は進みません。

5 レッスンを途中で止めるときは、演奏／停止ボタンを押します。

採点１：ステップ１での練習成果の確認

1 採点１ボタンを押します。

- 画面上の採点１インジケーターが点灯します。



- カウントの後、採点モードになります。

2 画面表示や音声を目安にして、演奏してみましょう。

- 採点を途中で止めるときは、演奏／停止ボタンを押します。そこまでの演奏に対する得点のみ、画面表示されます（評価ランクは“****”が表示されます）。

3 演奏が終了すると、採点結果を表示します。

- 評価ランクの表示と効果音については、27ページの「採点結果について」を参照してください。
- 最も苦手な箇所（点数の低い箇所）を重点的に練習することができます。31ページの「練習フレーズ機能について」を参照してください。
- ソングバンクボタンまたはピアノバンクボタンを押すと、曲の選択画面に戻ります。

095 スバ゛ラシイ！
得点

ステップ2：弾く鍵盤、指使いを覚えます

音を正しく鍵盤で弾くレッスンです。指使い（運指）を液晶表示で確認しながら、ガイドが示す通りに弾いてみましょう。伴奏（または左手パート）はメロディー（または右手パート）を正確に弾くまで待ってくれますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

1 レッスンする曲を選びます。

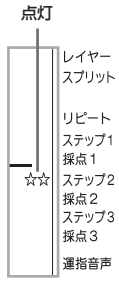
2 右手ボタンまたは左手ボタンを押して、練習したいパートを選びます。

＜両手を同時に練習したい場合＞

右手ボタンと左手ボタンを同時に押します。

- 選んだパートに対応して、画面上の手のL, Rの文字表示が消灯します。

3 ステップ2ボタンを押して、ステップ2のレッスンを開始します。

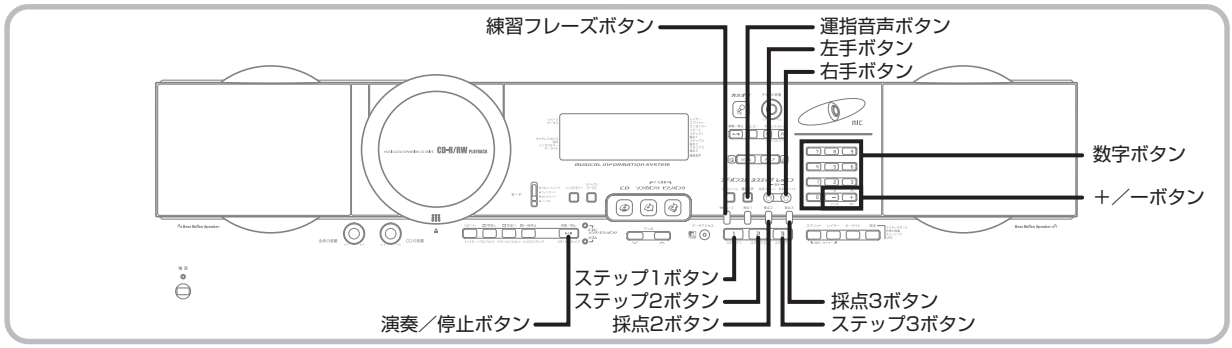


- カウントの後、（前奏のある曲は前奏に続き）１音目の待機状態になります。
- 片手パートのみをレッスンパートに選んでいる場合は、指番号が音声でガイドされます（「運指音声」31 ページ参照）。

4 鍵盤の光ガイドに合わせて演奏してみましょう。

- カウント中および前奏中は初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、光のガイドは点滅から点灯に変わります。
- 両手演奏曲で複数の鍵盤が点灯しているときは、それらの鍵盤をすべて押さえたときに曲が進行します。

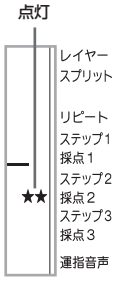
5 レッスンを途中で止めるときは、演奏／停止ボタンを押します。



採点２：ステップ２での練習成果の確認

1 採点２ボタンを押します。

- 画面上の採点２インジケーターが点灯します。



- カウントの後、採点モードになります。

※以降の操作は、前項の「採点 1」と同じです。

ステップ3：普通の速さで弾いてみましょう

ステップ２で練習した曲を普通の速さで弾くレッスンです。押さえる鍵盤はガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

1 レッスンする曲を選びます。

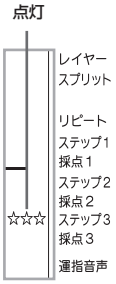
2 右手ボタンまたは左手ボタンを押して、練習したいパートを選びます。

＜両手を同時に練習したい場合＞

右手ボタンと左手ボタンを同時に押します。

- 選んだパートに対応して、画面上の手のL, Rの文字表示が消灯します。

3 ステップ３ボタンを押して、ステップ３のレッスンを開始します。



- 伴奏（左手パート）が普通の速さで演奏されます。

4 光ガイドに合わせて演奏してみましょう。

5 レッスンを途中で止めるときは、演奏／停止ボタンを押します。

採点３：ステップ３での練習成果の確認

1 採点３ボタンを押します。

- 画面上の採点３インジケーターが点灯します。
- カウントの後、採点モードになります。

※以降の操作は、前項の「採点 1」と同じです。

練習フレーズ機能について

採点機能で最も点数の低かった箇所を重点的に練習することができます。

1 採点結果が表示された後、練習フレーズボタンを押します。

```
     フレーズ゛ショウセツ
036  007－009
得点
```

- 練習フレーズモードになり、採点結果から一番点数の低かった得点とその小節番号（開始小節番号〜終了小節番号）が画面に表示されます（練習フレーズ）。

NOTE

- 練習フレーズ結果が無い場合は、“***-***”と表示されます。
- 練習フレーズ箇所の情報は、曲を変更したり、他のモードに変更すると消去されます。

練習フレーズを再生するには

1 練習フレーズが画面に表示されているときに、演奏／停止ボタンを押します。

- フレーズの開始小節から曲が再生されます。
- そのフレーズだけ、繰り返し再生されます。
- ステップ練習を止めるには、演奏／停止ボタンを押します。

NOTE

- 曲によってはフレーズの頭出しに数秒かかる場合があります。

練習フレーズを練習するには

1 練習フレーズが画面に表示されているときに、ステップ１〜３ボタンを押します。

- フレーズの開始小節から、押したボタンに応じたステップで練習できます。

2 鍵盤を弾いてみましょう。

- そのフレーズだけ、繰り返し再生されます。
- ステップ練習を止めるには、演奏／停止ボタンを押します。

運指音声（しゃべる運指）

指番号を音声でガイドします。ステップ１あるいは２をレッスン中で、片手パートのみを選択しているとき、弾くべき鍵盤の指番号を喋っていきます。たとえば、親指なら“いち”と、親指・中指・小指なら“いち”“さん”“ご”と順にしゃべってガイドする機能です。
運指音声は、弾くべきタイミングになっても鍵盤が押されなかった場合にだけガイドされます。

＜運指音声ガイド＞

“いち”	：指番号１／親指
“に”	：指番号２／人さし指
“さん”	：指番号３／中指
“よん”	：指番号４／薬指
“ご”	：指番号５／小指

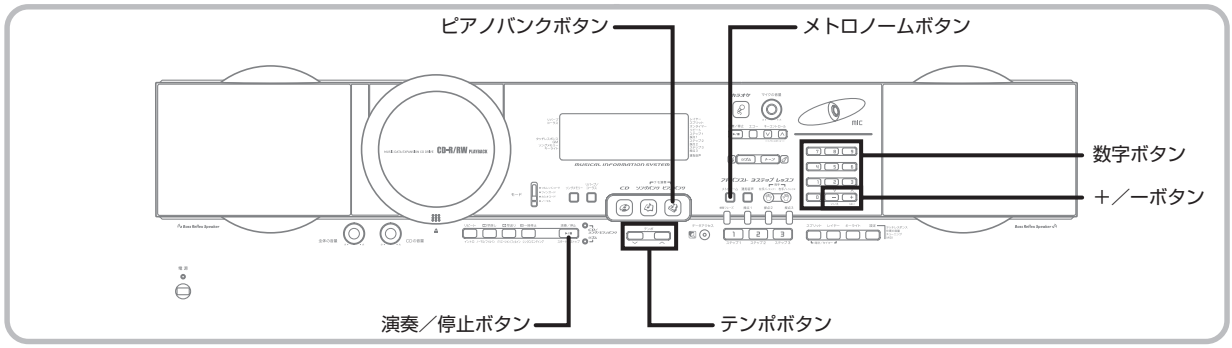
運指音声をオン／オフするには

運指音声ボタンを押して、運指音声のオン／オフを切り替えます。

- 画面上に運指音声のインジケーターが点灯していないときは、運指音声は鳴りません。

NOTE

- 採点中は、インジケーターが点灯していても運指音声が鳴りません。
- 採点機能を終了すると、運指音声は採点モードに入る前の設定に戻ります。



メトロノームを使うには

本機はメトロノーム音を鳴らすことができます。メトロノーム音には小節の１拍目に鳴るベル音と、その他の拍に鳴るクリック音があります。伴奏（リズム）の無い曲の練習に活用できます。

1 メトロノームボタンを押してメトロノーム音を鳴らします。

- 画面上の“ビート”表示が点灯します。５秒以内に操作２を行ってください。

2 数字ボタンまたは＋／－ボタンで拍子を決めます。

- 0、2、3、4、5、6 拍子が設定できます。

NOTE

- 0拍子を選んだ場合は、ベル音は鳴らず、クリック音のみが鳴ります。拍子数にかかわらず練習するのに便利です。

3 テンポボタンを押してテンポを決めます。

∧･･･数値が増える（テンポが速くなる）
∨･･･数値が減る（テンポが遅くなる）

NOTE

- テンポの数値の点滅中は、数字ボタン※、＋／－ボタンでも調節できます。
  ※“090”のように３桁で入力します。
- テンポボタンの∧／∨ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムや内蔵曲のお勧めのテンポになります。

4 メトロノームボタンを押すとメトロノーム機能がオフになります。

ピアノバンクボタンについて

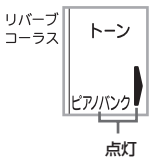
ピアノバンクボタンを押すと、ワンタッチでピアノ音色とピアノ曲が選択されます。

＜設定内容＞
音色：“000 ステレオピアノ”

操作手順

1 ピアノバンクボタンを押します。

- ピアノバンクボタンが点灯します。



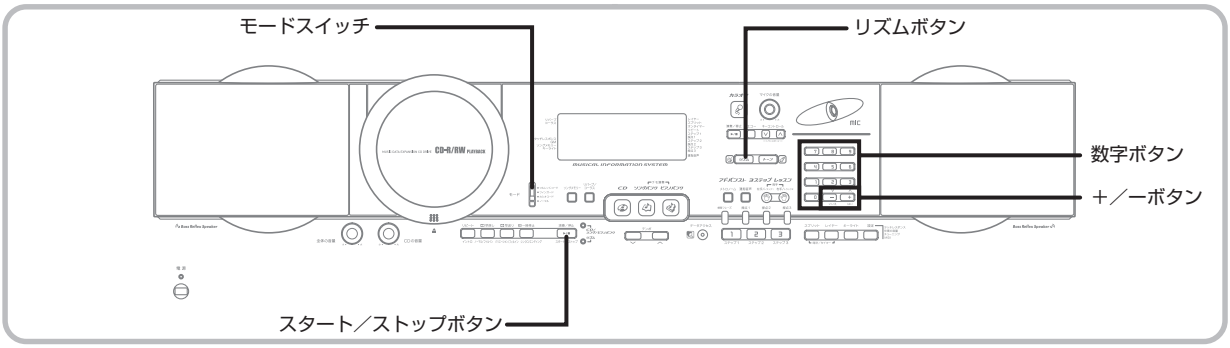
2 鍵盤を弾いてみましょう。

- ピアノの音色で演奏できます。

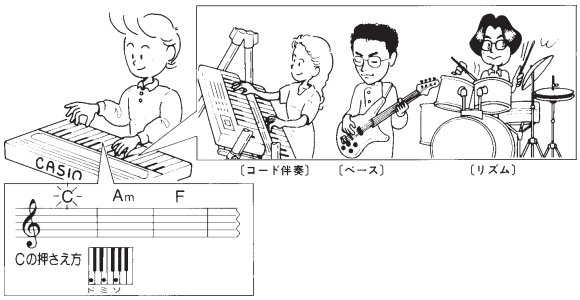
3 曲の演奏を聴きたい場合には、演奏／停止ボタンを押します。

- 同じ曲が繰り返し演奏されます。
- 演奏を止めるには、もう一度演奏／停止ボタンを押します。

自動伴奏を鳴らしてみましょう



本機では曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート（低音部）とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム（打楽器音）と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気に合った音色が鳴ります。
これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



リズムを選ぶには

本機にはロック、ポップス、ジャズなど、100種類のリズムが搭載されています。

1 リズムリストから鳴らしたいリズムを選び、その番号を確認します。

- 本体上のリズムリストでは、リズム名が省略されています。巻末の「リズムリスト」（59ページ）に全リズムが記載されています。

2 リズムボタンを押します。

3 数字ボタンで、リズムの番号を数字（2桁）で入力します。

NOTE

- リズム番号は、＋／－ボタンでも指定できます。
- リズムの中には、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていないものもあります。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。

リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

1 モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。

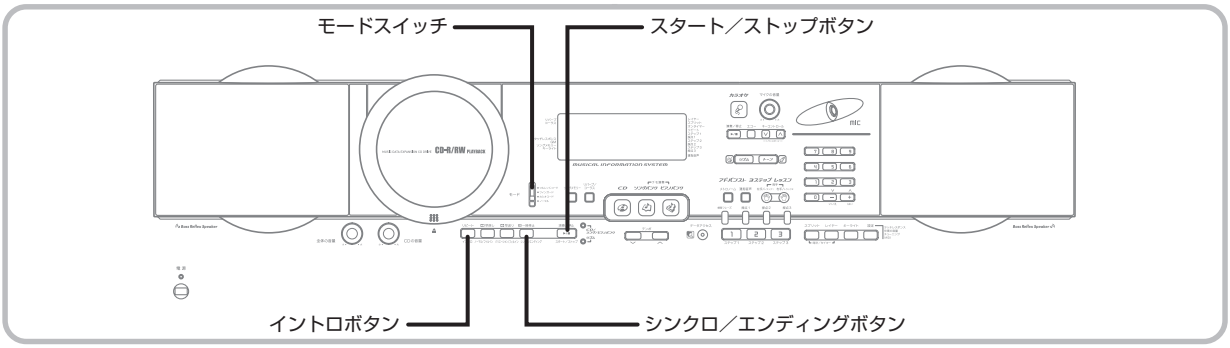
2 スタート／ストップボタンを押します。

- 選ばれたリズムが鳴り始めます。

3 スタート／ストップボタンを押すと停止します。

NOTE

- モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。



コード自動伴奏を鳴らすには

準備

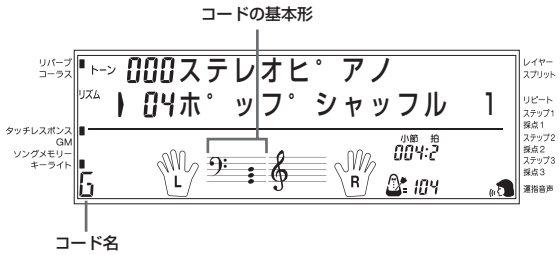
- リズムを選び、テンポを調節します。

1 モードスイッチを“カシオコード”“フィンガード”“フルレンジコード”のいずれかに合わせ、コードの指定方法を選びます。

2 スタート／ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。

3 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。

- 伴奏鍵盤や具体的な方法については、モードスイッチの設定に応じて、
  「カシオコードについて」‥‥‥‥ 34ページ
  「フィンガードについて」‥‥‥‥ 35ページ
  「フルレンジコードについて」‥‥ 36ページ
  をご参考ください。



- 選んだリズムと連動したコード自動伴奏が始まります。

4 スタート／ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。

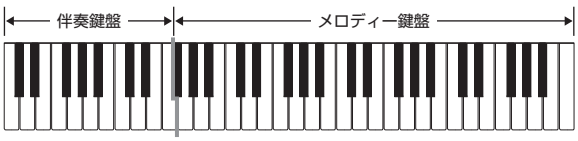
NOTE

- 操作2でスタート／ストップボタンの代わりに、シンクロ／エンディングボタン、イントロボタンの順に押すと、操作3により前奏付きの伴奏が始まります。これらのボタンについて詳しくは、36、37ページを参照してください。
- 操作4でスタート／ストップボタンの代わりに、シンクロ／エンディングボタンを押すと、エンディングが鳴って伴奏が止まります。このボタンについて詳しくは、38ページを参照してください。
- 伴奏パートの音量は、全体の音量とは別に調節できます。詳しくは、47ページの「伴奏/内蔵曲/CD(タイプA)の音量を変えるには」を参照してください。

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- **カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。**
- **スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、44ページの「スプリット機能を利用するには」を参照してください。**

【コードの種類】

カシオコードでは最小限の指使いで以下の４種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を１つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、１オクターブ違う同音でもかまいません)。	C(C メジャー) 音名→ C D E F G A B C D E F
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を１つ押します。	Cm(C マイナー) C D E F G A B C D E F
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を２つ押します。	C7(C セブンス) C D E F G A B C D E F
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を３つ押します。	Cm7(C マイナーセブンス) C D E F G A B C D E F

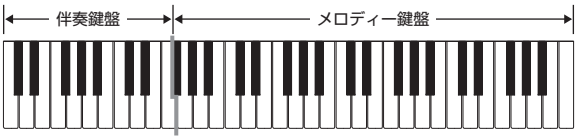
NOTE

- ２つ目以降の伴奏鍵盤は、１つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

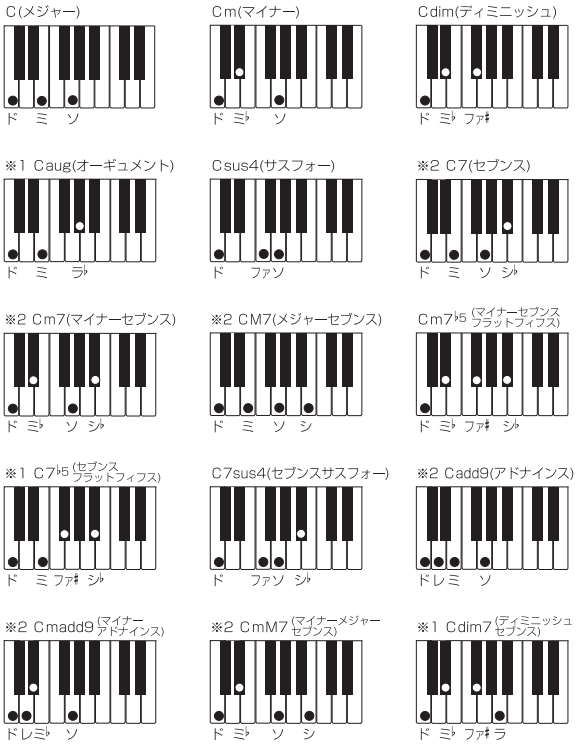
この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法（“C” を根音とした場合）は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- **フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。**
- **スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、44ページの「スプリット機能を利用するには」を参照してください。**



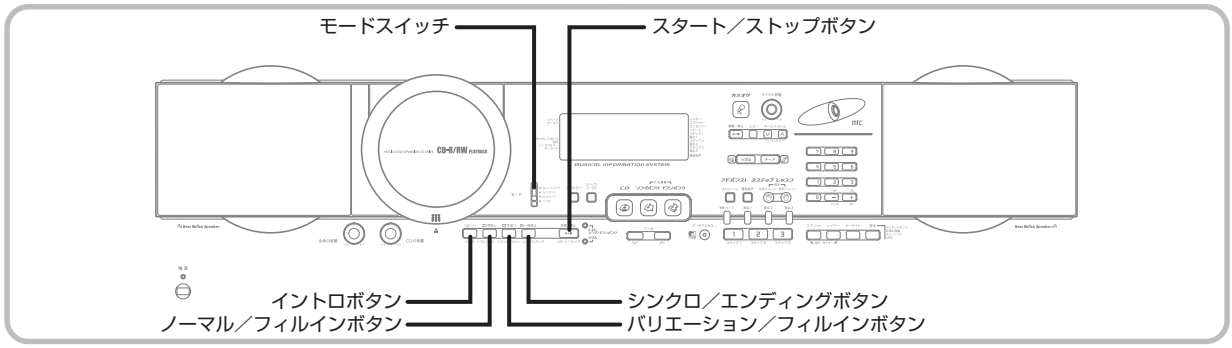
★ ***根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります（63ページ「フィンガードコード一覧表」参照）。***

※１：転回形（下の***NOTE***を参照）は使えません。最低音が根音となります。

※２：５度のソの音を押さえなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方（例えばCを「ドミソ」と押さえる）だけでなく、転回形（コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる）も有効です。
  ･･･※１のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり１音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
  ･･･※２のコードを除く。



フルレンジコードについて

この方法で指定できるコードは、フィンガードの 15 種類に23種類加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を３つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外（本機が判別できないコードや２つ以下の鍵盤を押している場合）ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

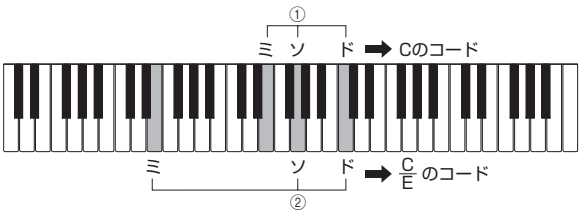
【フルレンジコードの伴奏／メロディー鍵盤】

《本機で判別できるコード》

分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類（35ページ「フィンガードについて」参照）
それ以外のコード	23 種類 以下は、“C” をベース音とした場合の例です。 C6、Cm6、C69 D♭/C、D/C、E/C、F/C、G/C、A♭/C、B♭/C、 B/C、D♭m/C、Dm/C、Fm/C、Gm/C、Am/C、B♭m/C、 Ddim/C、A♭7/C、F7/C、Fm7/C、Gm7/C、A♭add9/C

（例）Ｃメジャーの場合

Ｃメジャーの構成音は、「ド・ミ・ソ」です。
鍵盤で「ド・ミ・ソ」と押さえると、下記のように指定されます。

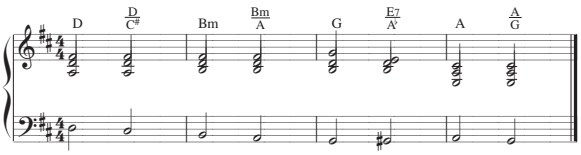


《ポイント》

- 転回形についてはフィンガードと同様です。（①）
- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。（②）

●フルレンジコードを使って演奏してみましょう

音色 023、リズム 005、テンポ 070
シンクロ／エンディングボタンを押す。



イントロを入れるには

リズム演奏や自動伴奏を始める前にイントロ（前奏）を加えることができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- モードスイッチでコードの指定方法を選ぶ。

1 イントロボタンを押します。

- 選んだリズムに応じたイントロを開始します。
- このとき伴奏鍵盤を弾くと、イントロに自動伴奏が加わります。

NOTE

- イントロが鳴り終わると通常のリズムに戻ります。
- イントロが鳴っているときに、バリエーション／フィルインボタンを押すと、イントロが鳴り終わってからバリエーションのリズムになります。
- イントロが鳴っているときに、シンクロ／エンディングボタンを押すと、イントロが鳴り終わってからエンディングのリズムになります。

フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

1 スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。

2 ノーマル／フィルインボタンを押します。

- リズムにフィルインが入ります。

NOTE

- イントロが鳴っている最中にボタンを押しても、フィルインは鳴りません。

同じリズムで演奏パターンを変化させるには

通常のリズムと演奏パターンを異なるリズム（バリエーション）に切り替え、伴奏の雰囲気を変化させます。

1 スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。

2 バリエーション／フィルインボタンを押します。

- 選んだリズムのバリエーションに切り替わります。

NOTE

- 通常（ノーマル）のリズムに戻すには、ノーマル／フィルインボタンを押します。

バリエーションのリズムにフィルインを入れるには

バリエーションのリズムに変化を付けます。

1 バリエーションのリズムが鳴っているときに、バリエーション／フィルインボタンを押します。

- バリエーションのリズムにフィルインが入ります。

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせる方法です。

準備

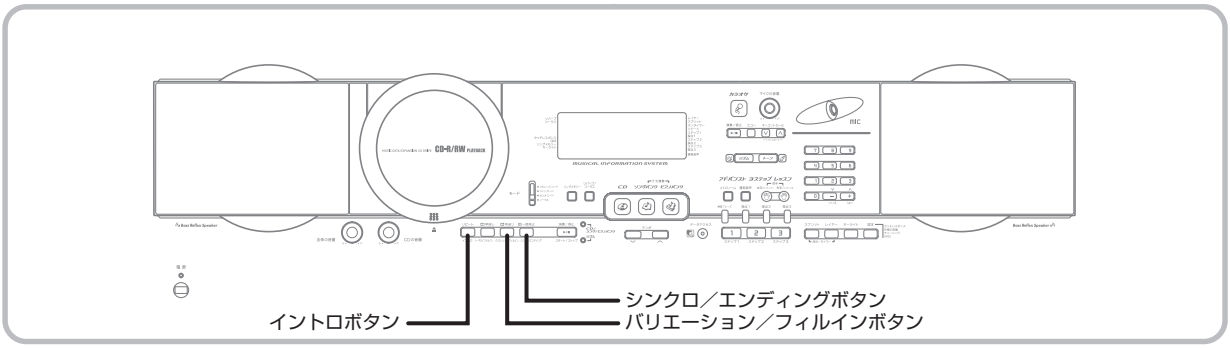
- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

1 シンクロ／エンディングボタンを押してシンクロスタートの待機状態にします。

点滅

2 伴奏鍵盤でコードを指定します。

- リズムとコード伴奏が同時にスタートします。



NOTE

- コードの指定方法をノーマルにしておくと、リズムのみが鳴り始めます。
- 鍵盤を押す前にイントロボタンを押しておくと、イントロからシンクロスタートします。
- 鍵盤を押す前にバリエーション／フィルインボタンを押しておくとバリエーションからシンクロスタートします。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロ／エンディングボタンを押すと待機状態が解除されます。

エンディングを付けて曲を終わらせるには

選ばれたリズムに最適なエンディングを加え、伴奏を自動的に停止します。

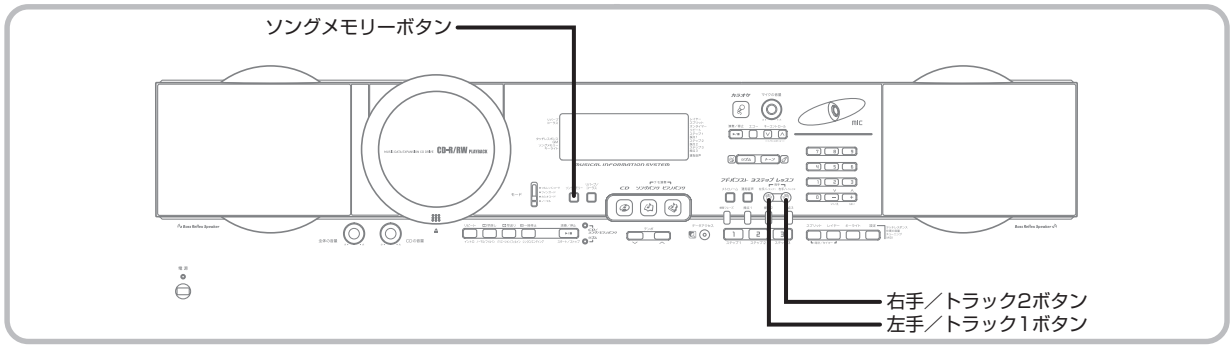
1 リズム（伴奏）が鳴っているときに、シンクロ／エンディングボタンを押します。

- リズムに応じたエンディングに切り替わり、リズム（伴奏）を終了します。

NOTE

- 各小節の 2 拍目より前にボタンを押すと瞬時にエンディングを開始し、2 拍目以降に押すと次の小節からエンディングを開始します。

演奏を録音してみましょう

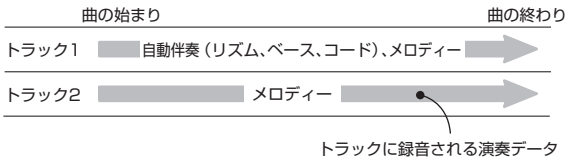


本機の録音機能（ソングメモリー）には、レッスン機能で練習した成果を録音する「レッスンソング録音」と、鍵盤の演奏をそのまま録音したり自動伴奏を使って録音する「ユーザーソング録音」があります。

本機で録音できる内容とパート／トラックについて

「レッスンソング録音」と「ユーザーソング録音」で録音できる内容が異なります。

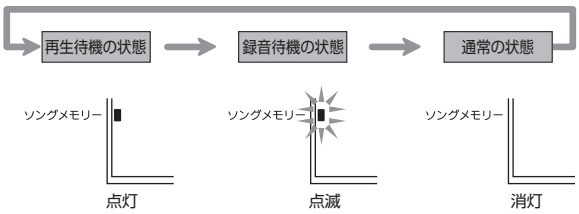
「レッスンソング録音」：右手、左手、両手のいずれかのパートを選んで録音できます。
「ユーザーソング録音」：下図のように１曲に対して、異なった演奏内容を2つのトラックに重ねて録音できます。



- それぞれのトラックは独立しているので、弾き間違えて録音しても、そのトラックだけ録音し直すことができます。

ソングメモリーボタンの使い方

ソングメモリーボタンを、１回押すごとに以下のように状態が切り替わります。

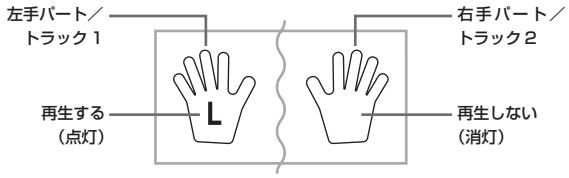


パート／トラックの選択と画面表示の見方

左手パート／トラック１を選ぶ場合は、左手／トラック１ボタンを押します。右手パート／トラック２を選ぶ場合は、右手／トラック２ボタンを押します。選択状況は、画面表示のL、Ｒの文字表示で確認できます。

●再生待機の状態

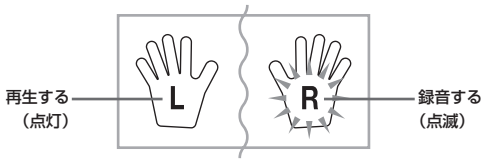
ボタンを押すごとに各パート／トラックを再生するか、再生しないかが切り替わります。
再生するパート／トラックは対応する文字の表示が点灯し、再生しないパート／トラックは消灯します。



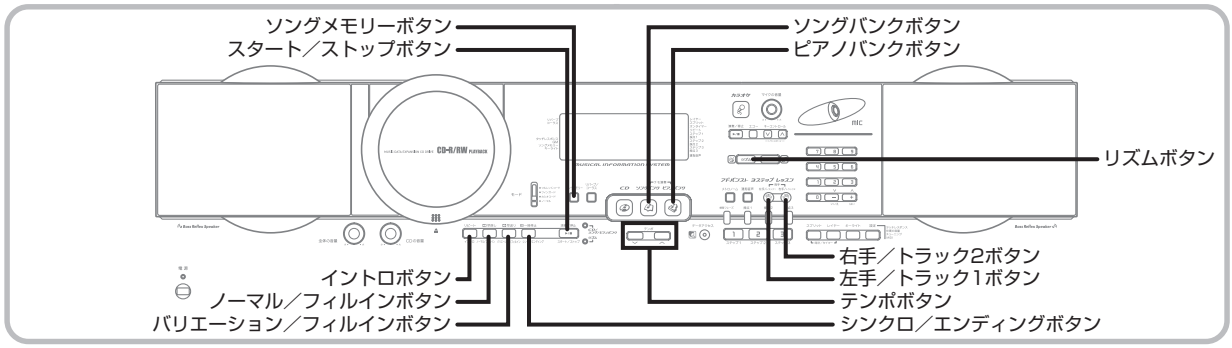
例）上図は、左手パート／トラック１が再生する、右手パート／トラック２が再生しない状態に設定されている場合

●録音待機の状態

ボタンを押した方のパート／トラックが録音待機の状態になります。
再生するパート／トラックは、対応する文字表示が点灯し、左手／トラック１ボタンまたは右手／トラック2ボタンを押すと録音を指定したパート／トラックは点滅します。
パート／トラックを選択していない状態で、パート／トラックにデータがある場合はそのトラックの表示が点灯します。



例）左手パート／トラック１が再生され、右手パート／トラック２が録音される場合



録音できる長さ（メモリー容量）

ソングメモリー機能で録音できる長さは、レッスンソング1曲、ユーザーソング1曲の2曲合わせて約5200音符です。1曲で5200音符を使いきってしまうと、2曲目は録音できません。

- 録音中に録音できる音符が約100音符以下になると、ソングメモリーインジケーターと画面上のトラック／パートの表示（L、R）が倍の速さで点滅します。
- 録音中にメモリーの容量がいっぱいになると、録音が自動的に終了します（自動伴奏やリズムを鳴らしているときは、その音も止まります）。

録音内容の保持について

- 新しく録音した時点で、以前の録音内容は消えてしまいます。
- 電池やACアダプターで電源を供給している間は、電源をオフにしても録音内容が保持されます。電池で利用しているときに電池を抜いたり、電池が消耗すると録音内容が消去されます。電池の交換は、ACアダプターを接続した状態で行うことをおすすめします。
- 録音中に電源が切れると、録音中のトラックの内容はすべて消去されます。

練習の成果を録音してみましょう（レッスンソング録音）

本機に内蔵されている曲を選んでレッスン機能で練習したパートを、録音して再生すれば、練習の成果を確認できます。レッスンソング録音を開始すると、選んだパート以外が鳴り、一方で鍵盤の光が選んだパートをガイドしてくれます。ガイドに合わせて弾いてみましょう。

準備

- ソングバンクボタンまたはピアノバンクボタンを押して、録音に使う曲を選べるモードにしておきます。

1 ソングメモリーボタンを押して、録音待機の状態にします。

- 画面のソングメモリーインジケーターが点滅します。

2 ソングバンク、ピアノバンクの中から、録音する曲を選びます。

- ソングバンク、ピアノバンクの曲の選び方については、19～20ページの「ソングバンクの曲を聴いてみましょう」、「ピアノバンクの曲を聴いてみましょう」を参照してください。CDについては、23ページの「曲を選んで再生するには」を参照してください。

3 左手／トラック1ボタンまたは右手／トラック2ボタンを押して、録音するパートを選びます。

- 両手パートを録音する場合は、2つのボタンを同時に押します。

4 必要に応じて、次の設定をしておきます。

- 音色設定（17ページ）
- テンポ設定（20ページ）

5 スタート／ストップボタンを押します。

- 録音が開始されます。

6 鍵盤で演奏します。

7 演奏が終わったら、スタート／ストップボタンを押します。

- 録音が終了します。

★ *すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度スタート／ストップボタンを押します。*

レッスンソングで記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容が記録されます。

- 音色
- テンポ
- 曲
- 録音パート
- ペダル操作
- レイヤー、スプリットの設定とその音色
- リバーブ、コーラスの設定とそのタイプ

レッスンソング録音した演奏を聴いてみましょう

準備

- ソングバンクボタンまたはピアノバンクボタンを押して、録音に使う曲を選べるモードにしておきます。
- ソングメモリーボタンを押して、再生待機の状態にします。

1 スタート／ストップボタンを押します。

- 録音された演奏内容を再生します。
- テンポボタンでテンポを調節することもできます。

2 再生を止めるには、もう一度スタート／ストップボタンを押します。

演奏をそのまま録音してみましょう（ユーザーソング録音）

コード伴奏や鍵盤の演奏をそのまま録音してみましょう。

準備

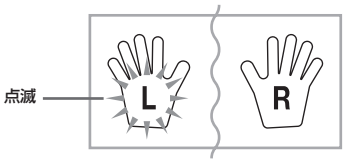
- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。

1 ソングメモリーボタンを押して、録音待機の状態にします。

- 画面のソングメモリーインジケーターが点滅します。

2 左手／トラック１ボタンを押して、トラック１を選びます。

- このとき録音するトラックは点滅します。



3 必要に応じて、次の設定をしておきます。

- 音色設定（17ページ）
- リズム設定（33ページ）
- モードスイッチ（34ページ）

★ *速いテンポで弾くのが苦手な方は、テンポボタンを使ってあらかじめテンポを下げておくといいでしょう（20ページ）。*

4 スタート／ストップボタンを押します。

- 録音が開始されます。

5 鍵盤で演奏します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定するとそのコードの自動伴奏がそのまま録音されます。またメロディー鍵盤を弾くと演奏がそのまま録音されます。
- 演奏中にペダルを利用している場合、ペダルの操作もそのまま録音されます。

6 演奏が終わったら、スタート／ストップボタンで録音を終了します。

★ *録音中に弾きまちがえたときは、操作１からやり直します。*
★ *すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度スタート／ストップボタンを押します。*

NOTE

- ユーザーソング録音で、すでに録音したトラックに再度録音する場合、以前録音されたデータが消えて新しいデータが上書きされます。

ユーザーソング録音でトラック１に記録される内容

鍵盤演奏やコード伴奏以外にも、以下の内容がトラックに記録され、録音時のまま再生されます。

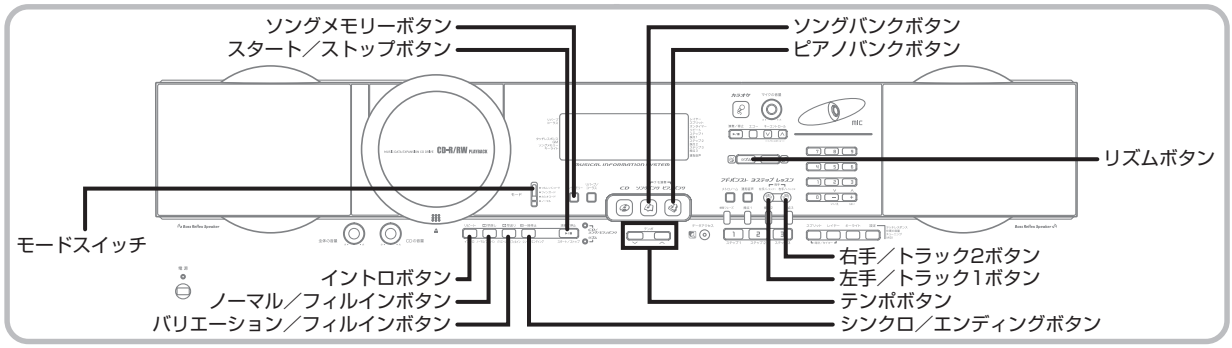
- 音色番号
- リズム番号
- イントロボタン、シンクロ／エンディングボタン、ノーマル／フィルインボタン、バリエーション／フィルインボタンの操作
- ペダル操作
- レイヤー、スプリットの設定とその音色
- スプリットポイント
- テンポ
- リバーブ、コーラスの設定とそのタイプ

トラック１にユーザーソング録音する場合の応用例

●リズムなしで録音するには

操作４を省略します。

- 鍵盤を押すと同時に、リズムなしで演奏内容が録音されます。



●シンクロスタートで録音を始めるには

操作４の代わりにシンクロ／エンディングボタンを押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

●前奏やエンディング、フィルインを入れて録音するには

録音中はイントロボタン、シンクロ／エンディングボタン、ノーマル／フィルインボタン、バリエーション／フィルインボタンが使用できます。

●シンクロスタートで前奏から録音を始めるには

操作4の代わりに、シンクロ／エンディングボタンとイントロボタンを続けて押します。

- 伴奏鍵盤でコードを指定すると、コード伴奏付きの前奏と同時に録音がスタートします。

●録音途中から自動伴奏をスタートさせるには

操作4の代わりにシンクロ／エンディングボタンを押し、メロディー鍵盤で演奏を始めます。

- 伴奏なしでメロディーの録音を開始します。録音の途中で伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏がスタートします。

ユーザーソング録音した演奏を聴いてみましょう

トラックに録音した演奏内容を再生してみましょう。

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。
- ソングメモリーボタンを押して、再生待機の状態にします。

1 スタート／ストップボタンを押します。

- 録音された演奏内容を再生します。ソングメモリー再生時にトラック１ボタンやトラック２ボタンを押すことで、録音された伴奏やメロディーをそれぞれ消して聴くこともできます。
- テンポボタンでテンポを調節できます。

2 再生を止めるには、もう一度スタート／ストップボタンを押します。

NOTE

- ソングメモリーの再生中にはモードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤がすべてメロディー鍵盤となり、録音した演奏に合わせて弾くことができます。このときスプリットやレイヤー機能（44～46ページ参照）を使えば、異なる音色を鍵盤の左右で分けて弾いたり、異なる音を重ねて演奏することもできます。
- ソングメモリーの再生では一時停止、早送り、早戻しの操作はできません。

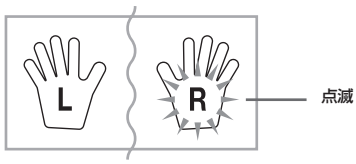
メロディーの演奏を重ねて録音してみましょう（ユーザーソング録音）

トラック１に録音した演奏に合わせ、トラック2にメロディーを重ねて録音してみましょう。

準備

- リズムボタンを押して、リズムモードにしておきます。
- ソングメモリーボタンを押して、録音待機の状態にします。

1 右手／トラック２ボタンを押して、トラック２を選びます。



2 必要に応じて次の設定を行います。

- 音色番号

★ *速いテンポで弾くのが苦手な方は、テンポボタンを使ってあらかじめテンポを下げておくといいでしょう。*

3 スタート／ストップボタンを押します。

- トラック２の録音を開始します。
- トラック１は再生を始めます。

4 トラック１を聴きながら、メロディーを演奏します。

5 録音が終わったら、スタート／ストップボタンを押して録音を終了します。

★ *録音中に弾きまちがえたときは、操作１からやり直します。*
★ *すぐに録音内容を再生したい場合は、もう一度スタート／ストップボタンを押します。*

NOTE

- トラック２はメロディー専用のトラックのため、コード伴奏は録音できません。このためトラック２に録音するときは、モードスイッチの設定にかかわらず、鍵盤はすべてメロディー鍵盤になります。
- 録音済のトラックのメロディーを再生させないで録音したい場合は、あらかじめ、再生待機の状態で録音済のトラックを再生しない状態に設定してから録音待機の状態にして録音を開始してください。ただし、リズムや自動伴奏は消すことはできません。

ユーザーソング録音でトラック2に録音される内容

鍵盤の演奏以外にも以下の内容が録音されます。

- 音色番号
- ペダルの操作

特定のパート／トラックを消去するには

レッスンソング、ユーザーソング録音した特定のパート／トラックを消去することができます。

準備

＜レッスンソング録音したパートを消去する場合＞

- ソングバンクボタンまたはピアノバンクボタンを押しておきます。

＜ユーザーソング録音したトラックを消去する場合＞

- リズムボタンを押しておきます。

1 ソングメモリーボタンを押して録音待機の状態にします。

2 左手／トラック1ボタンまたは右手／トラック2ボタンを押して、消去したいパート／トラックを選びます。

3 ソングメモリーボタンを押し続けます。

- 消去して良いかを確認するメッセージが表示されます。
- 消去を中止する場合は、－ボタン（いいえ）を押します。

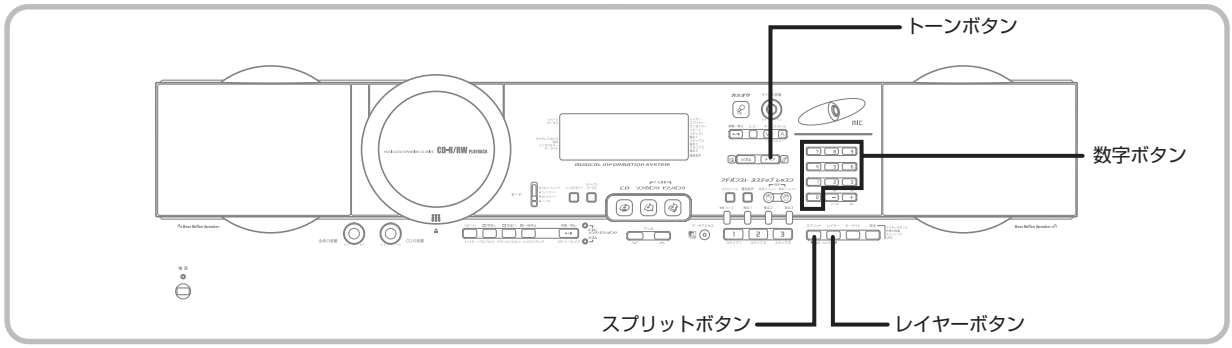
4 消去して良い場合は、＋ボタン（はい）を押します。

- 消去が実行され、ソングメモリーの再生待機の状態になります。

NOTE

- トラック／パートを消去する状態でソングメモリーボタンを押すと、録音待機の状態に戻ります。

設定を変えてみましょう



本機では、鍵盤の設定を変更することで２種類の音色を重ねて鍵盤で演奏したり（レイヤー機能）、鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てて演奏する（スプリット機能）など、幅広い演奏方法を楽しむことができます。

レイヤー機能を利用するには

この機能を利用すれば内蔵音色の中から２つの音色（メイン音色とレイヤー音色）を選んで同時に発音させることで、まったく新しいサウンドを作ることができます。例えばブラスの音色にフレンチホルンの音色を重ねれば、厚みのあるブラスサウンドで鍵盤演奏が楽しめます。

1 メイン音色を指定します。

例：“078 ブラス”の音色を指定する場合は、トーンボタンを押し、数字ボタンで“0→7→8”と入力します。

2 レイヤーボタンを押します。

3 レイヤー音色を指定します。

例：“077 フレンチホルン”の音色を重ねる場合は、数字ボタンで“0→7→7”と入力します。

4 鍵盤を弾いてみましょう。

- ブラスとフレンチホルンが同時に鳴ります。

5 レイヤーボタンを押すと通常の状態に戻ります。

【レイヤー】

スプリット機能を利用するには

両手で鍵盤を演奏するとき、この機能で鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てれば、２種類の楽器を左右に分けて演奏できます。例えば低音部にピチカート、高音部にストリングスを割り当てることで、ストリングスアンサンブルを弾き分けることができます。

1 メイン音色（高音部の音色）を指定します。

例：“062 ストリングス”の音色を指定する場合は、トーンボタンを押し、数字ボタンで“0→6→2”と入力します。

2 スプリットボタンを押します。

3 スプリット音色（低音部）を指定します。

例：“060 ピチカート”の音色で鍵盤を分けたい場合は、数字ボタンで“0→6→0”と入力します。

4 低音部と高音部の境目（スプリットポイント）を指定します。

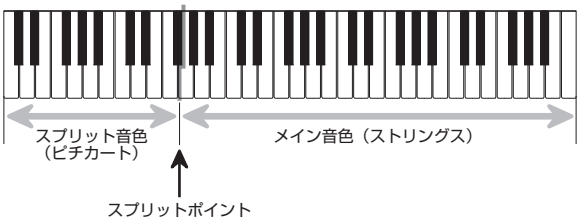
例：F♯3とG3の鍵盤で分ける場合は、スプリットボタンを押しながらG3の鍵を弾きます。

5 鍵盤を弾いてみましょう。

- F♯3より下の鍵盤でピチカートの音色が鳴り、G3から上の鍵盤でストリングスの音色が鳴ります。

6 もう一度スプリットボタンを押すと、通常の状態に戻ります。

【スプリット】



NOTE

- スプリットポイントは自動伴奏の伴奏鍵盤(３４、３５ページ) とメロディ鍵盤の境目もかねています。スプリットポイントを変更すると、伴奏鍵盤の範囲もそれに連れて変化します。

レイヤーとスプリットを同時に使うには

レイヤーの状態からスプリットボタンを押すか、スプリットの状態からレイヤーボタンを押すと、それぞれの機能の特徴を兼ね備えた「レイヤースプリット」という状態で利用できます。これは、2種類のレイヤーサウンドが鍵盤の高音部（メイン音色＋レイヤー音色）と低音部（スプリット音色＋レイヤースプリット音色）で発音します。

1 メイン音色を指定します。

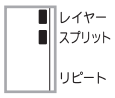
2 スプリット機能を使ってスプリット音色を指定します。

- 指定後は、スプリットを解除しておきます。

3 レイヤー機能を使ってレイヤー音色を指定します。

4 スプリットの状態からレイヤーボタン、またはレイヤーの状態からスプリットボタンを押して、レイヤースプリットの状態にします。

5 レイヤースプリット音色を指定します。

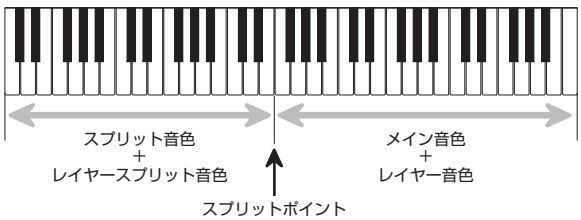


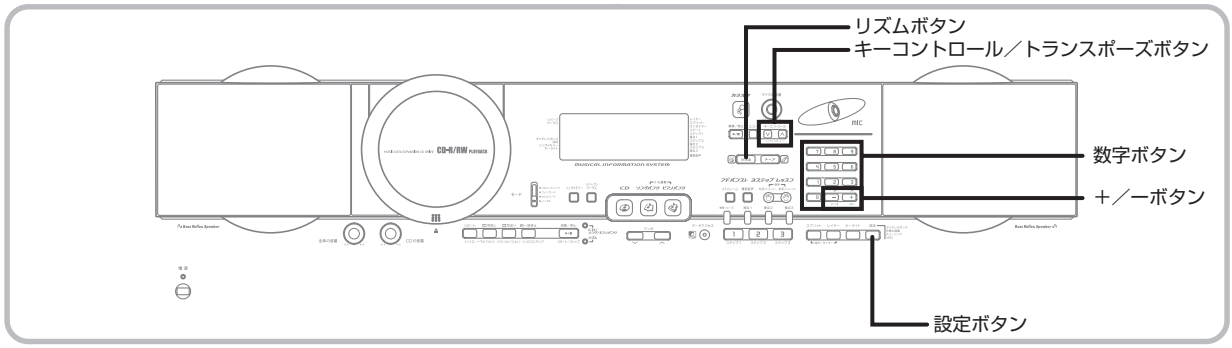
6 スプリットポイントを指定します。

7 鍵盤を弾いてみましょう。

- レイヤーボタンとスプリットボタンを押すと通常の状態に戻ります。

【レイヤースプリット】





トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのままで、簡単に音の高さを変えることができます。

1 リズムボタンを押して、リズムモードにします。

- ソングバンクモードあるいはピアノバンクモード中は、トランスポーズ機能を設定できません。

2 キーコントロール／トランスポーズボタン（∧／∨）で音の高さを設定します。

∧･･･半音単位で音が上がります。
∨･･･半音単位で音が下がります。
例：5半音上にトランスポーズさせる場合。

05トランスポ゜ーズ゛

NOTE

- トランスポーズの設定範囲は－12（1オクターブ下）～＋12（1オクターブ上）です。
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、メモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。
- 操作2でキーコントロール／トランスポーズボタンの∧と∨を同時に押すと、“00”になります。＋ボタンと－ボタンを同時に押しても“00”になります。

タッチレスポンス機能を利用するには

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を弾く強弱で音量を変化させるかどうか決める機能です。タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量が変化します。

タッチレスポンスは以下の3種類から設定できます。

- OFF（オフ）：タッチレスポンス機能が解除された状態です。鍵盤を弾く強さに関わらず、音の大きさが一定になります。
- 1：通常のピアノ演奏に適した感度のタッチレスポンスがかかります。
- 2：“1”の場合よりも、より大きな音が出しやすいようになります。

1 設定ボタンを押して、タッチレスポンスの設定画面にします。

1タッチレスポ゜ンス

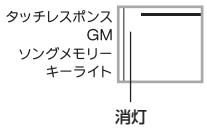
2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：2に変更します。

2タッチレスポ゜ンス

- タッチレスポンス機能がオンの場合。

- タッチレスポンス機能がオフの場合。



NOTE

- ソングメモリー再生や、伴奏、USB端子からのMIDIノート情報は、タッチレスポンス機能の設定に影響されません。

設定ボタンについて

通常の状態から設定ボタンを押すことで、タッチレスポンスやチューニングを設定する画面に切り替えられます。画面の中にはMIDIを使うためのさまざまな機能の画面（51～54ページ）も含まれており、設定ボタンを押すたびにそれぞれの画面が順番に切り替わり、最後に通常の状態に戻ります。呼び出したい画面を行き過ぎた場合は、再度その画面が表示されるまで設定ボタンを押してください。

伴奏/内蔵曲/CD(タイプA)の音量を変えるには

伴奏パートや内蔵曲やCD(タイプA)の音量を通常の演奏とは独立して調節できます。音量の範囲は、最小“000”～最大“127”です。

1 設定ボタンを押して、伴奏の音量※の設定画面にします。

2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで伴奏の音量※を指定します。

例：110

※内蔵曲やCD(タイプA)については、NOTEを参照してください。

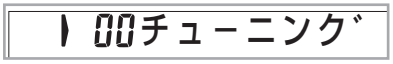
NOTE

- 操作1の後、表示は5秒で元に戻ります。
- 操作2で＋と－ボタンを同時に押したときは、初期値になります。
- ソングバンクモード、ピアノバンクモード、CDボタンが赤く点灯した状態(タイプA)では、同じ操作で曲の音量を設定できます。画面の表示は「キョクノオンリョウ」に変わります。

チューニング機能を使うには

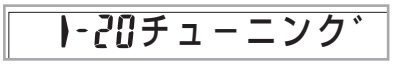
チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

1 設定ボタンを押して、チューニングの設定画面にします。



2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンでチューニングの量を調節します。

例：チューニングを20下げる場合。



NOTE

- チューニングの設定範囲は－50～＋50で、±約50セント※です。
  ※100セント＝半音
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- チューニングの設定は、ソングメモリー機能や自動伴奏の演奏にも反映します。
- 操作2で＋ボタンと－ボタンを同時に押すと、“00”になります。

パソコンとの接続について

本機のUSB端子を使えば、パソコンと簡単に接続できます。同梱のCD-ROM内のUSBドライバをご自分のパソコンにインストールすれば、市販のパソコン用MIDIソフトウェアによるパソコンと電子楽器のMIDI情報の送受信がUSBポートを介して行えます。

USB端子での接続

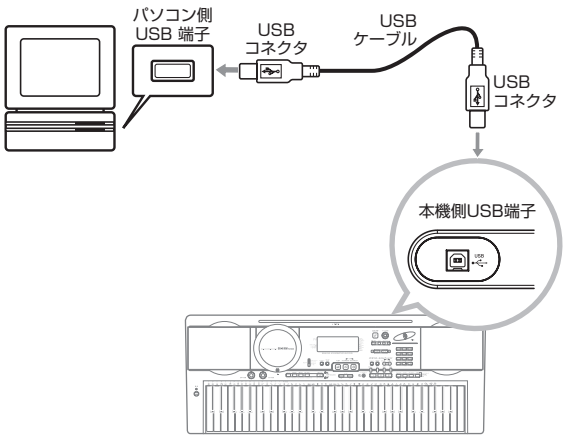
USB端子を備えたパソコンと本機のUSB接続端子を接続することで、簡単にパソコンへのデータ転送ができます。接続には、市販のUSBケーブルが必要です。

接続方法

1 USB端子を備えたパソコンに、USBドライバをインストールしておきます。

- ドライバのインストール方法は、付属のドライバCD-ROMのルートディレクトリにあるreadme.txtを参照してください。

2 市販のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。



重要

データアクセスランプについて

- **本機とパソコンをUSBケーブルでつないで通信を行っているときには、データアクセスランプが点滅します。データアクセスランプが点滅しているときは、USBケーブルを抜かないでください。**

ソングバンクの曲を増やすには

カシオが提供する下記のサービス/ツールを利用すれば、パソコンから送信した曲データを本機のソングバンク（No.40～49番：最大10曲、合計約172キロバイト）へ保存して、内蔵曲と同じように再生したり、練習したり、あわせて歌うことができます。

● **カシオが提供するサービスを利用する場合**
以下のサービスを利用して曲データを本機へ送信して保存できます。

- インターネット楽譜配信サービス
（本機画面上では、楽譜表示されません。）
- インターネットカラオケ配信サービス
（本機画面上では、歌詞表示されません。）

※ 付属のCD-ROMに入っているアプリケーションでは、上記のサービスをご利用できませんので、ご注意ください。

● **カシオが提供するツールを利用する場合**
ご自身で購入／作成したSMF形式のデータを、カシオ専用の変換ソフトを使ってカシオフォーマットに変換して本機へ送信して保存できます。

この操作をするために、下記のカシオホームページから、最新バージョンのアプリケーションソフトを入手いただく必要があります。

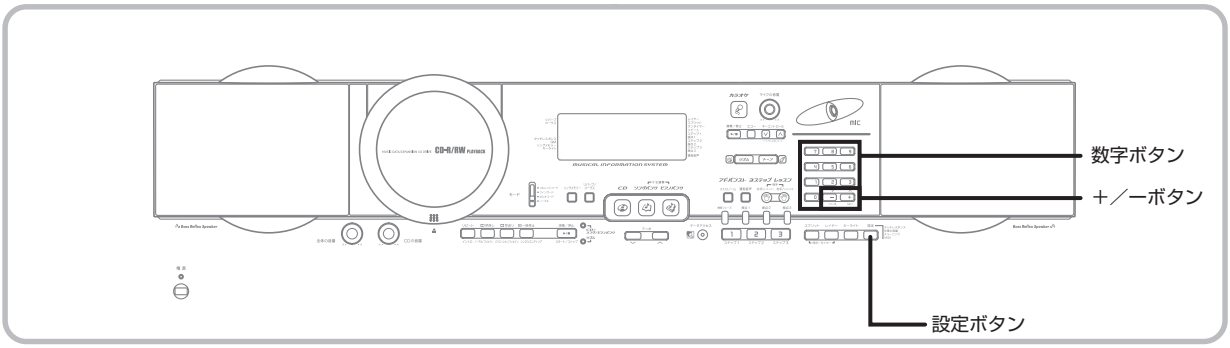
カシオ・ミュージック・サイト
http://music.casio.co.jp/

※ 各ソフトのインストール方法や使い方、曲データの購入方法、本機との接続などの詳細、最新情報についても、あわせて上記ホームページでご確認ください。

パソコンから送信した曲データの歌詞表示について

カラオケデータ（インターネットカラオケ配信サービス）：
本機の画面上では、歌詞表示されません。

SMF形式の曲データ：
本機に内蔵されていない文字は、画面上で「*」に置き換わります。



GMについて

GMの規格では、音色の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能なMIDIチャンネル数など、音源部分の仕組みについて決められています。このため、ＧＭ 音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも、比較的同系統の音色、同じニュアンスで再生することができます。

本機の音源部分はGM規格に対応していますので、市販のGM対応データやパソコン通信などで流通しているGM対応データを、パソコンなどの外部機器と接続することで再生することができます。

設定を変えるには

本機は、単体で楽しむだけでなく、外部のシーケンサーやシンセサイザーなどと組み合わせて、市販のGM対応データを再生したり同時に演奏することができます。

GMモード オン/オフの設定（初期値：オン）

● **GMモードがオンの場合**

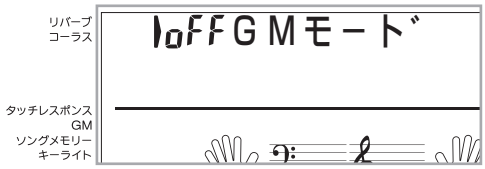
USB入力による自動伴奏コードの指定ができなくなります。本機をGM対応音源として利用するのに適しています。

● **GMモードがオフの場合**

モードスイッチでコードの指定方法が選ばれているとき、USB端子から入力されたキーボードチャンネルのノート情報でコード指定ができます。

1 設定ボタンを押して、ＧＭ システムオン／オフの設定画面にします。

例：GMモードはオフの状態です。



2 ＋／－ボタンで設定値を変更します。

例：GMモードをオンにします。

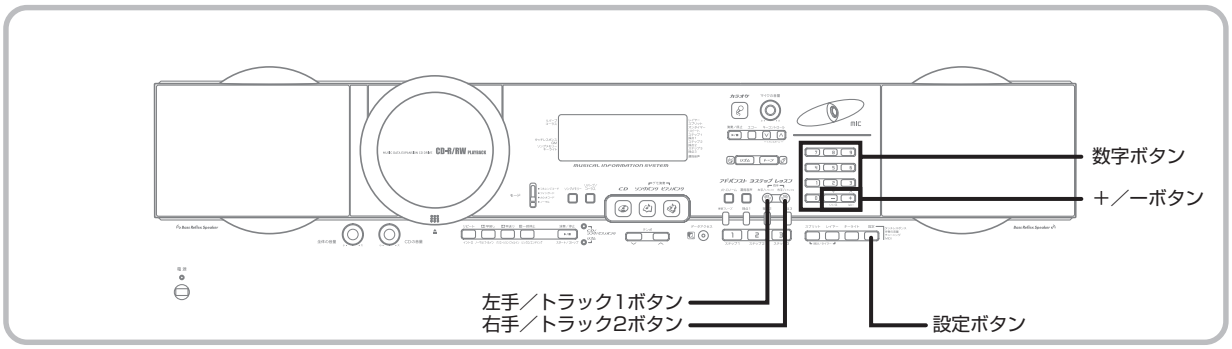
キーボードチャンネルの設定（初期値：1）

キーボードチャンネルとはキーボードのメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルのことです。キーボードチャンネルは1～16のチャンネルの中から1つ指定します。

1 設定ボタンを押して、キーボードチャンネルの設定画面にします。

2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：MIDIチャンネル4をキーボードチャンネルに設定します。



ナビゲートチャンネルの設定（初期値：4）

ナビゲートチャンネルとは、メッセージを受信し本機で演奏したときに、音符情報を本機の液晶画面で表示させたり、鍵盤を光らせるチャンネルのことです。ナビゲートチャンネルは1～16のチャンネルの中から選びます。市販のMIDIデータの好きなパートを画面で表示させて、弾き方を研究するのに便利です。

1 設定ボタンを押して、ナビゲートチャンネルの設定画面にします。

1 04ナビ゛ゲ゛ートチャンネル

2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：チャンネル２をナビゲートチャンネルに設定します。

1 02ナビ゛ゲ゛ートチャンネル

●受信中のデータ再生中に任意の音をオフにするには

《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルのオン／オフ》

1 データ再生中に右手／トラック2ボタンを押します。

- ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの音は消えますが、画面の鍵盤表示部は送られてくるデータ通りに点灯します。オンにするには再度押します。

《ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの－１チャンネルのオン／オフ》

1 データ再生中に左手／トラック1ボタンを押します。

- ナビゲートチャンネルで設定されているチャンネルの－１チャンネルの音が消えます。画面の鍵盤表示部は－１チャンネルのデータが点灯します。オンに戻すには再度押します。

例：ナビゲートチャンネル:4Chの場合→3Chの音が消えます。

ローカルコントロール　オン／オフの設定（初期値:オン）

●ローカルコントロールがオフ（oFF）の場合：

鍵盤による演奏情報は、USB 端子からメッセージとして送られますが、本体の音源は発音しません。パソコンなどの外部機器側の MIDI スルー機能を利用するときはオフにして使用してください。

NOTE

- 本機を単体でご使用になるときにローカルコントロールをオフにすると、鍵盤を弾いても音が出なくなりますのでご注意ください。

1 設定ボタンを押して、ローカルコントロール　オン／オフの設定画面にします。

例：ローカルコントロールはオンの状態です。

1on ローカルコントロール

2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：ローカルコントロールをオフにします。

1oFFローカルコントロール

アカンプアウト　オン／オフの設定（初期値：オフ）

自動伴奏の内容を外部の音源で鳴らしたいときにこの機能をオンにします。

●アカンプアウトがオン（on）の場合：
自動伴奏を鳴らしたとき、そのメッセージをUSB端子から送信します。

●アカンプアウトがオフ（oFF）の場合：
自動伴奏を鳴らしたとき、そのメッセージはUSB端子から送信されません。

1 設定ボタンを押して、アカンプアウト　オン／オフの設定画面にします。

例：アカンプアウトはオフの状態です。

```
1oFFアカンプ゛アウト
```

2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：アカンプアウトをオンにします。

```
1on アカンプ゛アウト
```

アサイナブル端子の設定（初期値：SUS）

フットペダルの機能を設定します。

●サスティン（SUS）を選んだ場合：
ペダルを踏むとサスティン効果※1がかかります。

●ソステヌート（SoS）を選んだ場合：
ペダルを踏むとソステヌート効果※2がかかります。

●ソフト（SFt）を選んだ場合：
ペダルを踏むとその時に弾いた音が小さくなります。

●リズム（rHy）を選んだ場合：
ペダル操作でスタート／ストップボタンと同じ働きをします。

1 設定ボタンを押して、アサイナブル端子の設定画面にします。

例：アサイナブル端子はサスティンが選ばれています。

```
1SUSアサイナブ゛ルタンシ
```

2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで設定値を変更します。

例：リズムに変更します。

```
1rHyアサイナブ゛ルタンシ
```

※1　サスティン効果
ピアノなどの減衰系の音色ではダンパーペダルと同じように鍵盤で弾いた音に余韻が残り、オルガンなどの持続音ではペダルを離すまで鍵盤で弾いた音が鳴り続けます。なお、どちらの場合でもペダルを踏んでいる間に弾き直した音に対しても効果があります。

※2　ソステヌート効果
ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音のみ、サスティン効果と同じ効果がつきます。ペダルを押している間に弾き直した音には効果がありません。

本機で送受信可能なメッセージ

MIDIの規格では、さまざまなメッセージが決められています。ここでは本機が送受信できるメッセージについて説明します。なお、(*) 印のついたメッセージは、本機全体に対して働くメッセージ、それ以外は特定のチャンネルに対して働くメッセージです。

《ノートオン／オフ》
本機はノートオフのベロシティは受信しません。
本機のキーボードを弾いたり離したりしたときには、USB端子からノートオン／オフのメッセージが出力されます。
出る音の高さは音色によって異なります（58ページ「音色別発音域表」参照）。本機の受信したノートナンバーが、その音色の発音域より高いか低いときは、同じ音名で一番近い発音域内の音（オクターブ違いの音）に置き代えて発音します。

《プログラムチェンジ》
本機のパネル上で音色番号を選ぶと、同時にUSB端子からプログラムチェンジのメッセージが出力されます。同じように外部機器からプログラムチェンジ情報を送ることで本機の音色を変えることができます。

0～127は本機の264音色に対応しています。ただし、チャンネル10だけはドラム音色専用チャンネルで0、8、16、24、25、32、40、48が本機のドラムセット8音色に対応しています。

《ピッチベンド》
本機ではピッチベンド情報は送信しませんが受信は可能です。

《コントロールチェンジ》

本機が送受信可能なコントロールチェンジ／コントロールナンバー

コントロールチェンジ	コントロールナンバー
バンクセレクト※1	0、32
★モジュレーション	1
★ボリューム	7
★パン	10
★エクスプレッション	11
ホールド1	64
ソステヌート	66
ソフトペダル	67
RPN※2	100／101
データエントリー	6／38

★印のメッセージは受信のみです。

※1 本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機の音色を選ぶ場合、プログラムチェンジ情報にバンクセレクトを組み合わせることで264種類すべての音色を選ぶことができます。プログラムチェンジとバンクセレクトの組み合わせについては、55ページの「トーンリスト」を参照してください。

例：パネル音色96番（フルート1）を選ぶ場合は、
コントロールナンバー0・コントロール値＝2（バンクナンバー）
コントロールナンバー32・コントロール値＝0
プログラムチェンジ＝73
を続けて送信します。

※2 RPN（Registered Parameter Number）は、複数のコントロールチェンジを組み合わせて使用する特殊なコントロールチェンジです。コントロールナンバー100と101のコントロール値でコントロールする要素を選び、データエントリー（コントロールナンバー6／38）のコントロール値で値を設定します。
本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機のピッチベンドセンス（ピッチベンドデータによる音高の変化幅）、トランスポーズ（本機全体の音の高さを半音単位で調節する機能）、チューン（本機全体の音の高さを微調整する機能）をコントロールするのにRPNを使用します。

NOTE

- フットペダルによるサスティン／ソステヌート／ソフトの効果も送受信されます（コントロールナンバー64、66、67）。

《オールサウンドオフ》

《オールノートオフ》

《リセットオールコントローラー》

《システムエクスクルーシブ》(*)
本機は、次のエクスクルーシブメッセージに対応しています。

● GMシステムオン（[F0][7E][7F][09][01][F7]）
本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機をＧＭ システムオンの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

※ＧＭ システムオンは他のメッセージよりも処理時間がかかります。このためシーケンサーにGM システムオンを記録する場合は、次のメッセージまで50msec以上間隔をあけるようにしてください。

● GMシステムオフ（[F0][7E][7F][09][02][F7]）
本機に接続したパソコンからのメッセージ受信により、本機をＧＭ システムオフの状態にするユニバーサルシステムエクスクルーシブです。

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	1. 電源が正しくセットされていない。 2. 電源が入っていない。 3. 音量が下がっている。 4. モードスイッチが“カシオコード”や“フィンガード”の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。 5. ローカルコントロールがオフになっている。	1. ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕ ⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 2. 電源ボタンを押す。 3. 全体の音量つまみを調節する。 4. モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。 5. 設定ボタンから、ローカルコントロールをオンにしてください。	☞ 13ページ ☞ 17ページ ☞ 17ページ ☞ 17ページ ☞ 50ページ
電池で使用していて、下記の状態になった。 • 電源ランプが暗くなった。 • 電源が入らなくなった。 • 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 • 音量が小さくなった。 • 音質が劣化した。 • 大きな音を出すと時々音が途切れる。 • 大きな音を出すと突然電源が切れる。 • 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 • 鍵盤を押していないのに音が出続ける。 • 指定の音色とは異なる音を発音する。 • リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。 • 鍵盤の光が発音時に暗くなる。 • マイクの音量が小さくなった。 • マイクの音質が劣化した。 • マイクを使うと電源ランプが暗くなる。 • マイクを使うと電源が切れる。	電池が消耗している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	☞ 13ページ
自動伴奏の音が鳴らない。	伴奏の音量が“000”になっている。	設定ボタンを使って伴奏の音量を上げる。	☞ 47ページ
鍵盤を弾く強弱で音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	設定ボタンを使ってオンの状態にする。	☞ 46ページ
鍵盤が点灯したままになっている。	ステップ1または2で正しい鍵盤が押されているのを待っている状態。	1. 点灯している鍵盤を押して、ステップ1または2での演奏を続ける。 2. スタート／ストップボタンでステップ1または2での演奏を中止する。	☞ 28, 29 ページ

現象	原因	解決方法	参照
音が出ていないのに鍵盤が点灯する。	電源切り忘れのお知らせ機能が働いている。	各ボタンや鍵盤を押すと、電源オン直後の状態に戻る。	☞ 14ページ
他の楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が“00”以外になっている。	キーコントロール／トランスポーズボタンまたは設定ボタンでトランスポーズとチューニングの設定を“00”にする。	☞ 46, 47 ページ
自動伴奏やリズムが録音できない。	録音トラックにトラック2を指定している（トラック2 はメロディー専用トラックです）。	録音待機の状態からトラック指定ボタンでトラック1を選ぶ。	☞ 41ページ
コード伴奏の演奏情報をパソコンに録音できない。	アカンプアウトがオフになっている。	設定ボタンでアカンプアウトをオンにする。	☞ 51ページ
マイクの音が出ない。	1. マイクの音量が絞られている。 2. マイクにあるオン/オフ（ON/OFF）スイッチがオフ（OFF）になっている。	1. マイクの音量を上げる。 2. マイクにあるオン/オフ（ON/OFF）スイッチをオン（ON）にする。	☞ 24ページ
マイクを使っているときに雑音が入る。	蛍光灯などのノイズ源が近くにある。	ノイズ源からマイクを離す。	☞ 24ページ
ディスクを入れても再生されない。	1. ディスクが裏返しに入っている。 2. ディスクがひどく汚れている。 3. ディスクが正しくセットされていない。	1. ラベル面を手前に向けて入れる。 2. 汚れをふき取る。 3. ディスクを正しくセットする。	☞ 5ページ
ディスク再生中に音とびが発生する。	1. 衝撃や振動のあるところで本体を使用している。 2. ディスクの状態がわるい（汚れ、キズ、ソリなど）。	1. 本体の設置場所を変える。 2. 汚れをふき取る。（傷んでいるディスクは使わない。）	☞ 5ページ
歌詞が表示されない。	選んでいる曲に歌詞データが含まれていない。	歌詞付きの曲を選び直す。	☞ 25ページ
テレビ画面に色ムラがある。	本機がテレビの上や近くにある。	本機をテレビから離す。	☞ 16ページ
音は出ているが、映像に乱れがある。	本機とテレビが正しく接続されていない。	本機とテレビを正しく接続する。	☞ 16ページ
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	デジタルサンプリングという電子処理※によって発生する音域の境目で、故障ではありません。 ※ 元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。		

トーンリスト

① グループ名
② 番号
③ 音色名
④ 音域のタイプ
⑤ 同時発音数
⑥ プログラムチェンジ
⑦ バンクセレクトMSB

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
ピアノ	000	ステレオピアノ	A	16	0	2
ピアノ	001	グランドピアノ	A	32	0	1
ピアノ	002	ブライトピアノ	A	16	1	2
ピアノ	003	メローピアノ	A	16	0	3
ピアノ	004	モダンピアノ	A	16	1	3
ピアノ	005	ダンスピアノ	A	32	1	1
ピアノ	006	ストリングスピアノ	A	16	0	8
ピアノ	007	ホンキートンク	A	16	3	2
ピアノ	008	オクターブピアノ	A	16	3	8
ピアノ	009	エレクトリックグランドピアノ	A	16	2	2
ピアノ	010	モダンエレクトリックグランド	A	16	2	3
ピアノ	011	エレクトリックピアノ	A	32	4	2
ピアノ	012	コーラスエレピ	A	16	4	9
ピアノ	013	モダンエレクトリックピアノ	A	16	5	2
ピアノ	014	ソフトエレクトリックピアノ	A	16	4	8
ピアノ	015	エレピパッド	A	16	5	8
ピアノ	016	ハープシコード	A	32	6	2
ピアノ	017	カップルハープシコード	A	16	6	8
ピアノ	018	クラビ	A	32	7	2
クロマチックパーカッション	019	チェレスタ	A	32	8	2
クロマチックパーカッション	020	グロッケンシュピール	B	32	9	2
クロマチックパーカッション	021	ビブラフォン	A	32	11	2
クロマチックパーカッション	022	マリンバ	A	32	12	2
オルガン	023	ドローバーオルガン 1	A	16	16	2
オルガン	024	ドローバーオルガン 2	A	16	16	1
オルガン	025	ドローバーオルガン 3	A	16	16	3
オルガン	026	パーカッシブオルガン 1	A	16	17	2
オルガン	027	パーカッシブオルガン 2	A	16	17	3
オルガン	028	エレクトリックオルガン 1	A	16	16	8
オルガン	029	エレクトリックオルガン 2	A	16	16	4
オルガン	030	ジャズオルガン	A	16	17	4
オルガン	031	ロックオルガン	A	16	18	2
オルガン	032	チャーチオルガン	A	16	19	2
オルガン	033	チャペルオルガン	A	32	19	8
オルガン	034	アコーディオン	A	16	21	2
オルガン	035	オクターブアコーディオン	A	16	21	8
オルガン	036	バンドネオン	A	16	23	2
オルガン	037	ハーモニカ	A	32	22	2
ギター	038	ナイロンストリングスギター	C	32	24	2
ギター	039	スチールストリングスギター	C	32	25	2
ギター	040	12 ゲンギター	C	16	25	8
ギター	041	ジャズギター	C	32	26	2
ギター	042	オクターブジャズギター	C	16	26	8

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
ギター	043	クリーンギター	C	32	27	2
ギター	044	エレクトリックギター	C	16	27	1
ギター	045	ミュートギター	C	32	28	2
ギター	046	オーバードライブギター	C	32	29	2
ギター	047	ディストーションギター	C	32	30	2
ギター	048	フィードバックギター	C	16	31	8
ベース	049	アコースティックベース	C	32	32	2
ベース	050	ライドベース	C	16	32	32
ベース	051	フィンガーベース	C	32	33	2
ベース	052	ピックベース	C	32	34	2
ベース	053	フレットレスベース	C	32	35	2
ベース	054	スラップベース	C	32	37	2
ベース	055	ソーシンセベース	C	32	38	2
ベース	056	スクエアシンセベース	C	32	39	2
ストリングス/オーケストラ	057	バイオリン	A	32	40	2
ストリングス/オーケストラ	058	スローバイオリン	A	32	40	8
ストリングス/オーケストラ	059	チェロ	C	32	42	2
ストリングス/オーケストラ	060	ピチカート	A	32	45	2
ストリングス/オーケストラ	061	ハープ	A	32	46	2
アンサンブル	062	ストリングス	A	32	48	2
アンサンブル	063	スローストリングス	A	32	49	2
アンサンブル	064	チェンバー	A	16	48	3
アンサンブル	065	シンセストリングス 1	A	32	50	2
アンサンブル	066	シンセストリングス 2	A	32	51	2
アンサンブル	067	クワイア アー	A	32	52	2
アンサンブル	068	クワイア	A	32	52	8
アンサンブル	069	ボイス ドゥー	A	32	53	2
アンサンブル	070	シンセボイス	A	32	54	2
アンサンブル	071	シンセボイスパッド	A	16	54	8
アンサンブル	072	オーケストラヒット	A	16	55	2
ブラス	073	トランペット	A	32	56	2
ブラス	074	トロンボーン	C	32	57	2
ブラス	075	チューバ	C	32	58	2
ブラス	076	ミュートトランペット	A	32	59	2
ブラス	077	フレンチホルン	C	16	60	2
ブラス	078	ブラス	A	32	61	2
ブラス	079	ブラスセクション	A	16	61	3
ブラス	080	ブラススフォルツァンド	A	16	61	8
ブラス	081	アナログシンセブラス	A	16	62	8
ブラス	082	シンセブラス 1	A	32	62	2
ブラス	083	シンセブラス 2	A	16	63	2
リード	084	ソプラノサックス	A	32	64	2
リード	085	アルトサックス 1	C	16	65	1

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
リード	086	アルトサックス 2	C	32	65	2
リード	087	ブレッシーアルトサックス	C	16	65	8
リード	088	テナーサックス 1	C	16	66	1
リード	089	テナーサックス 2	C	32	66	2
リード	090	ブレッシーテナーサックス	C	16	66	8
リード	091	テナーサクスィーズ	C	16	66	9
リード	092	バリトンサックス	C	32	67	2
リード	093	オーボエ	A	32	68	2
リード	094	クラリネット	A	32	71	2
パイプ	095	ピッコロ	B	32	72	2
パイプ	096	フルート 1	A	32	73	2
パイプ	097	フルート 2	A	16	73	1
パイプ	098	メローフルート	A	16	73	8
パイプ	099	リコーダー	A	32	74	2
パイプ	100	パンフルート	A	32	75	2
パイプ	101	ホイッスル	A	32	78	2
シンセリード	102	スクエアリード	A	16	80	2
シンセリード	103	ソートゥースリード	A	16	81	2
シンセリード	104	メローソーリード	A	16	81	8
シンセリード	105	サインリード	A	32	80	8
シンセリード	106	エスエスリード	A	16	81	3
シンセリード	107	カリオペ	A	16	82	2
シンセリード	108	ボイスリード	A	16	85	2
シンセリード	109	ベース+リード	A	16	87	2
シンセパッド	110	ファンタジー	A	16	88	2
シンセパッド	111	ウォームパッド	A	16	89	2
シンセパッド	112	ウォームボイス	A	16	89	8
シンセパッド	113	ポリシンセ	A	16	90	2
シンセパッド	114	ポリソートゥース	A	16	90	8
シンセパッド	115	ボウパッド	A	16	92	2
シンセパッド	116	ヘイロパッド	A	16	94	2
シンセパッド	117	アトモスフィア	A	16	99	2
シンセパッド	118	ブライトネス	A	16	100	2
シンセパッド	119	エコーパッド	A	16	102	2
シンセパッド	120	スターテーマ	A	16	103	2
シンセパッド	121	スペースパッド	A	16	103	8
和楽器	122	シャクハチ	A	16	77	2
和楽器	123	シノブエ	A	16	77	8
和楽器	124	シャミセン	A	32	106	2
和楽器	125	コト	A	32	107	2
和楽器	126	タイコ	D	32	116	2
和楽器	127	ツヅミ	D	32	116	4
GM トーン	128	GM ピアノ 1	A	32	0	0
GM トーン	129	GM ピアノ 2	A	32	1	0
GM トーン	130	GM ピアノ 3	A	32	2	0
GM トーン	131	GM ホンキートンク	A	16	3	0
GM トーン	132	GM エレピ 1	A	32	4	0
GM トーン	133	GM エレピ 2	A	16	5	0
GM トーン	134	GM ハープシコード	A	32	6	0
GM トーン	135	GM クラビ	A	32	7	0
GM トーン	136	GM チェレスタ	A	32	8	0
GM トーン	137	GM グロッケンシュピール	A	32	9	0

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
GM トーン	138	GM ミュージックボックス	A	16	10	0
GM トーン	139	GM ビブラフォン	A	32	11	0
GM トーン	140	GM マリンバ	A	32	12	0
GM トーン	141	GM シロフォン	A	32	13	0
GM トーン	142	GM チューブラーベル	A	32	14	0
GM トーン	143	GM ダルシマー	A	16	15	0
GM トーン	144	GM オルガン 1	A	16	16	0
GM トーン	145	GM オルガン 2	A	16	17	0
GM トーン	146	GM オルガン 3	A	16	18	0
GM トーン	147	GM パイプオルガン	A	16	19	0
GM トーン	148	GM リードオルガン	A	32	20	0
GM トーン	149	GM アコーディオン	A	16	21	0
GM トーン	150	GM ハーモニカ	A	32	22	0
GM トーン	151	GM バンドネオン	A	16	23	0
GM トーン	152	GM ナイロンストリングスギター	A	32	24	0
GM トーン	153	GM スチールストリングスギター	A	32	25	0
GM トーン	154	GM ジャズギター	A	32	26	0
GM トーン	155	GM クリーンギター	A	32	27	0
GM トーン	156	GM ミュートギター	A	32	28	0
GM トーン	157	GM オーバードライブギター	A	32	29	0
GM トーン	158	GM ディストーションギター	A	32	30	0
GM トーン	159	GM ギターハーモニクス	A	32	31	0
GM トーン	160	GM アコースティックベース	A	32	32	0
GM トーン	161	GM フィンガーベース	A	32	33	0
GM トーン	162	GM ピックベース	A	32	34	0
GM トーン	163	GM フレットレスベース	A	32	35	0
GM トーン	164	GM スラップベース 1	A	32	36	0
GM トーン	165	GM スラップベース 2	A	32	37	0
GM トーン	166	GM シンセベース 1	A	32	38	0
GM トーン	167	GM シンセベース 2	A	32	39	0
GM トーン	168	GM バイオリン	A	32	40	0
GM トーン	169	GM ビオラ	A	32	41	0
GM トーン	170	GM チェロ	A	32	42	0
GM トーン	171	GM コントラバス	A	32	43	0
GM トーン	172	GM トレモロストリングス	A	32	44	0
GM トーン	173	GM ピチカート	A	32	45	0
GM トーン	174	GM ハープ	A	32	46	0
GM トーン	175	GM ティンパニ	A	32	47	0
GM トーン	176	GM ストリングス 1	A	32	48	0
GM トーン	177	GM ストリングス 2	A	32	49	0
GM トーン	178	GM シンセストリングス 1	A	32	50	0
GM トーン	179	GM シンセストリングス 2	A	32	51	0
GM トーン	180	GM クワイア アー	A	32	52	0
GM トーン	181	GM ボイス ドゥー	A	32	53	0
GM トーン	182	GM シンセボイス	A	32	54	0
GM トーン	183	GM オーケストラヒット	A	16	55	0
GM トーン	184	GM トランペット	A	32	56	0
GM トーン	185	GM トロンボーン	A	32	57	0
GM トーン	186	GM チューバ	A	32	58	0
GM トーン	187	GM ミュートトランペット	A	32	59	0
GM トーン	188	GM フレンチホルン	A	16	60	0
GM トーン	189	GM ブラス	A	32	61	0

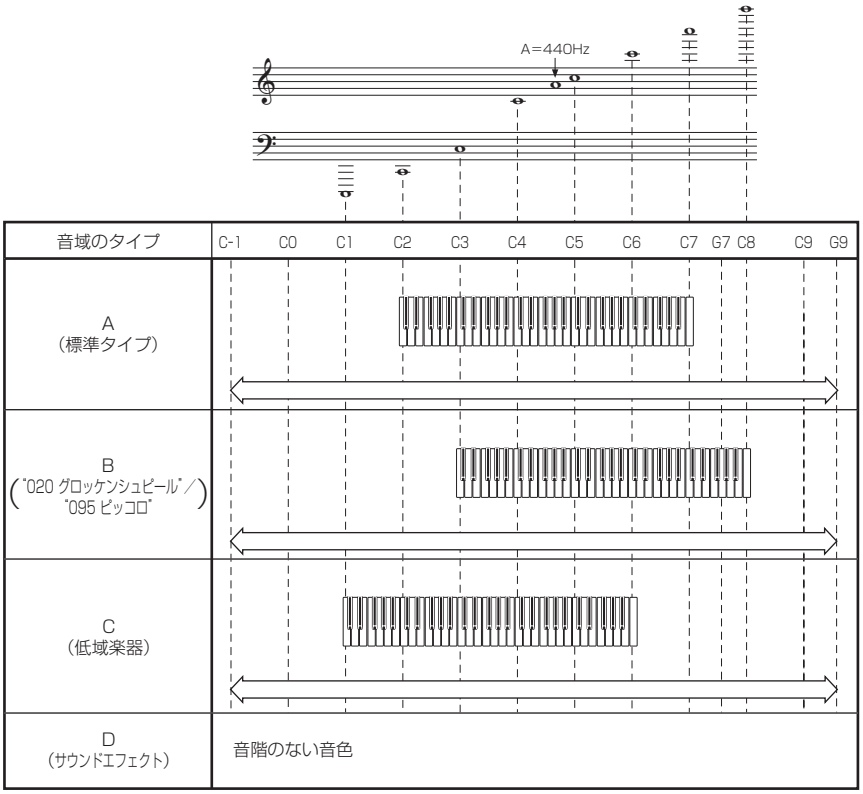
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
GM トーン	190	GM シンセブラス 1	A	32	62	0
GM トーン	191	GM シンセブラス 2	A	16	63	0
GM トーン	192	GM ソプラノサックス	A	32	64	0
GM トーン	193	GM アルトサックス	A	32	65	0
GM トーン	194	GM テナーサックス	A	32	66	0
GM トーン	195	GM バリトンサックス	A	32	67	0
GM トーン	196	GM オーボエ	A	32	68	0
GM トーン	197	GM イングリッシュホルン	A	32	69	0
GM トーン	198	GM バスーン	A	32	70	0
GM トーン	199	GM クラリネット	A	32	71	0
GM トーン	200	GM ピッコロ	A	32	72	0
GM トーン	201	GM フルート	A	32	73	0
GM トーン	202	GM リコーダー	A	32	74	0
GM トーン	203	GM パンフルート	A	32	75	0
GM トーン	204	GM ボトルブロー	A	16	76	0
GM トーン	205	GM シャクハチ	A	16	77	0
GM トーン	206	GM ホイッスル	A	32	78	0
GM トーン	207	GM オカリナ	A	32	79	0
GM トーン	208	GM スクエアリード	A	16	80	0
GM トーン	209	GM ソートゥースリード	A	16	81	0
GM トーン	210	GM カリオペ	A	16	82	0
GM トーン	211	GM チフリード	A	16	83	0
GM トーン	212	GM チャラン	A	16	84	0
GM トーン	213	GM ボイスリード	A	16	85	0
GM トーン	214	GM フィフスリード	A	16	86	0
GM トーン	215	GM ベース＋リード	A	16	87	0
GM トーン	216	GM ファンタジー	A	16	88	0
GM トーン	217	GM ウォームパッド	A	16	89	0
GM トーン	218	GM ポリシンセ	A	16	90	0
GM トーン	219	GM スペースクワイア	A	16	91	0
GM トーン	220	GM ボウグラス	A	16	92	0
GM トーン	221	GM メタリックパッド	A	16	93	0
GM トーン	222	GM ヘイロパッド	A	16	94	0
GM トーン	223	GM スイープパッド	A	16	95	0
GM トーン	224	GM レインドロップ	A	16	96	0
GM トーン	225	GM サウンドトラック	A	16	97	0
GM トーン	226	GM クリスタル	A	16	98	0
GM トーン	227	GM アトモスフィア	A	16	99	0
GM トーン	228	GM ブライトネス	A	16	100	0
GM トーン	229	GM ゴブリン	A	16	101	0
GM トーン	230	GM エコー	A	16	102	0
GM トーン	231	GM サイエンスフィクション	A	16	103	0
GM トーン	232	GM シタール	A	16	104	0
GM トーン	233	GM バンジョー	A	32	105	0
GM トーン	234	GM シャミセン	A	32	106	0
GM トーン	235	GM コト	A	32	107	0
GM トーン	236	GM カリンバ	A	32	108	0
GM トーン	237	GM バグパイプ	A	16	109	0
GM トーン	238	GM フィドル	A	32	110	0
GM トーン	239	GM シャナイ	A	32	111	0
GM トーン	240	GM ティンクルベル	A	32	112	0
GM トーン	241	GM アゴゴ	A	32	113	0

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
GM トーン	242	GM スチールドラム	A	16	114	0
GM トーン	243	GM ウッドブロック	D	32	115	0
GM トーン	244	GM タイコ	D	32	116	0
GM トーン	245	GM メロディックタム	D	32	117	0
GM トーン	246	GM シンセドラム	D	32	118	0
GM トーン	247	GM リバースシンバル	D	32	119	0
GM トーン	248	GM ギターフレットノイズ	A	32	120	0
GM トーン	249	GM ブレスノイズ	A	32	121	0
GM トーン	250	GM シーショアー	D	16	122	0
GM トーン	251	GM バード	D	16	123	0
GM トーン	252	GM テレホン	D	32	124	0
GM トーン	253	GM ヘリコプター	D	32	125	0
GM トーン	254	GM アプローズ	D	16	126	0
GM トーン	255	GM ガンショット	D	32	127	0
ドラムセット	256	スタンダードセット	D	32	0	120
ドラムセット	257	ルームセット	D	32	8	120
ドラムセット	258	パワーセット	D	32	16	120
ドラムセット	259	エレクトリックセット	D	32	24	120
ドラムセット	260	シンセセット	D	32	25	120
ドラムセット	261	ジャズセット	D	32	32	120
ドラムセット	262	ブラッシュセット	D	32	40	120
ドラムセット	263	オーケストラセット	D	32	48	120

音色別発音域表

NOTE

- 音域のタイプ（A～D）は以下の表を参照してください。



a ……鍵盤演奏時の音域

b ……発音可能音域（トランスポーズ、MIDIの受信時）

NOTE

- 弾いた鍵盤の音の高さ、内蔵曲やソングメモリー機能の演奏内容、コードフォーム、USB 端子から受信したデータ※1 などを五線上に表示します。
  F#6 ～ C7 の音の高さの表示は五線譜上に 1 オクターブ低く音符を表示しオクターブアップマーク（*8va*）※2 を表示します。
  ※1 表示できる範囲 C2 ～ C7 より、高い音や低い音を受信したときは、表示されません。
  ※2 オクターブアップマーク（*8va*）を表示した状態では、C2 ～ B2 は表示されません。

リズムリスト

ポップス I	
00	ポップ 1
01	ワールドポップ
02	8 ビートポップ
03	ソウルバラード 1
04	ポップシャッフル 1
05	8 ビートダンス
06	ポップバラード 1
07	ポップバラード 2
08	バラード
09	フュージョンシャッフル
ポップス II	
10	ソウルバラード 2
11	16 ビート 1
12	16 ビート 2
13	8 ビート 1
14	8 ビート 2
15	8 ビート 3
16	ダンスポップ 1
17	ポップフュージョン
18	ポップ 2
19	ポップワルツ
ダンス／ファンク	
20	ダンス
21	ディスコ 1
22	ディスコ 2
23	ユーロビート
24	ダンスポップ 2
25	グルーブソウル
26	テクノ
27	トランス
28	ヒップホップ
29	ファンク

ロック I	
30	ポップロック 1
31	ポップロック 2
32	ポップロック 3
33	フォーキーポップ
34	ポップシャッフル 2
35	ロックバラード
36	ソフトロック
37	ロック 1
38	ロック 2
39	ヘビーメタル
ロック II	
40	60’Sソウル
41	60’Sロック
42	スローロック
43	シャッフルロック
44	50’Sロック
45	ブルース
46	ニューオーリンズロック
47	ツイスト
48	リズム＆ブルース
49	ロックワルツ
ジャズ	
50	ビッグバンド 1
51	ビッグバンド 2
52	スイング
53	スロースイング
54	フォックストロット
55	ジャズコンボ
56	ジャズボイス
57	アシッドジャズ
58	ジャズワルツ
ヨーロピアン	
59	ポルカ
60	ポップポルカ
61	マーチ 1
62	マーチ 2
63	ワルツ 1
64	スローワルツ
65	ウインナーワルツ
66	フレンチワルツ
67	セレナード
68	タンゴ

ラテン／その他	
69	ボサノバ
70	サンバ
71	マンボ
72	ルンバ
73	チャチャチャ
74	ボレロ
75	サルサ
76	レゲエ
77	プンタ
78	クンビア
79	パソドブレ
80	スカ
81	ブルーグラス
82	テックスメックス
83	カントリー
84	フォルクローレ
85	ゴスペル 1
86	ゴスペル 2
87	ハワイアン
88	演歌
89	ストリングカルテット
フォー ピアノ	
90	ピアノバラード 1
91	エレピバラード
92	ブルースバラード
93	メロージャズ
94	ラグタイム
95	アルペジオ
96	ピアノバラード 2
97	6／8 マーチ
98	2 ビート
99	ワルツ 2

ソングリスト

ソングバンク／カラオケリスト

ポップス

00	ボーン・トゥ・ラヴ・ユー
01	Moments
02	Wonderful Life
03	Jupiter
04	彩～ Aja ～
05	桜
06	世界に一つだけの花
07	それがすべてさ
08	First Love
09	地上の星
10	大きな古時計

アニメ／スクリーン

11	ビヨンド・ザ・シー 「ファインディング・ニモ」より
12	さんぽ「となりのトトロ」より
13	星に願いを
14	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン 「タイタニック」より

イベント

15	ハッピー・バースデイ・トゥ・ユー
16	おめでとうクリスマス
17	ジングル・ベル
18	きよしこの夜
19	もろびとこぞりて

童謡 / 世界の曲

20	聖者の行進
21	グリーンスリーブス
22	スウィング・ロウ・スウィート・チャリオット
23	パン屋さん
24	きらきら星
25	ちょうちょう
26	大きな栗の木の下で
27	ロング・ロング・アゴー
28	かわいいオーガスチン
29	森のくまさん
30	こげよマイケル
31	埴生の宿
32	線路は続くよどこまでも
33	オーラ・リー
34	草競馬
35	アルプス一万尺
36	わらの中の七面鳥
37	アロハ・オエ
38	さくら　さくら
39	汝が友（チゴイネルワイゼン）

40～49	ダウンロード曲

ピアノバンクリスト

ピアノ練習曲集

00	メヌエット（J.S.バッハ）
01	ガボット（ゴセック）
02	アラベスク（ブルグミュラー）
03	チョップスティックス
04	楽しき農夫
05	インヴェンション　第1番
06	アヴェ・マリア（グノー）
07	主よ、人の望みの喜びよ
08	カノン（パッヘルベル）
09	ソナチネ　作品36　第1楽章
10	ソナタ　作品13「悲愴」第2楽章
11	プレリュード　作品28の7（ショパン）
12	ジュ・トゥ・ヴ
13	夢
14	喜びの歌
15	セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
16	行進曲「くるみ割り人形」より
17	家路「新世界から」より
18	夢路より
19	ダニー・ボーイ

ピアノ名曲集

20	ピアノ協奏曲「宿命」第１楽章
21	レット・イット・ビー
22	イエスタデイ・ワンス・モア
23	いつも何度でも「千と千尋の神隠し」より
24	虹の彼方に
25	ムーン・リバー
26	エリーゼのために
27	トルコ行進曲（モーツァルト）
28	エンターテイナー
29	ジムノペディ　第1番
30	別れの曲
31	ソナタ　作品27の2「月光」第1楽章
32	ハンガリー舞曲　第5番
33	トロイメライ
34	ユーモレスク（ドヴォルザーク）
35	プロムナード「展覧会の絵」より
36	白鳥「動物の謝肉祭」より
37	闘牛士の歌　組曲「カルメン」より
38	ラルゴ（ヘンデル）
39	結婚行進曲「真夏の夜の夢」より
40	アメリカン・パトロール
41	クシコス・ポスト
42	人形の夢と目覚め
43	貴婦人の乗馬
44	ソナタ　K.545　第1楽章
45	乙女の祈り
46	ノクターン　作品9の2（ショパン）
47	軍隊行進曲　第1番
48	花の歌
49	華麗なる大円舞曲

ドラム音色リスト

音名／ノートナンバー	スタンダードセット	ルームセット	パワーセット	エレクトリックセット	シンセセット	ジャズセット	ブラッシュセット	オーケストラセット
B♭0 22	Tsudumi Mute	←	←	←	←	←	←	←
B0 23	Tsudumi	←	←	←	←	←	←	←
C1 24	Oodaiko	←	←	←	←	←	←	←
C♯1 25	Oodaiko Rim	←	←	←	←	←	←	←
D1 26	Simedaiko	←	←	←	←	←	←	←
E♭1 27	High Q	←	←	←	←	←	←	Closed Hi-Hat
E1 28	Slap	←	←	←	←	←	←	Pedal Hi-Hat
F1 29	Scratch Push	←	←	←	←	←	←	Open Hi-Hat
F♯1 30	Scratch Pull	←	←	←	←	←	←	Ride Cymbal 1
G1 31	Sticks	←	←	←	←	←	←	←
A♭1 32	Square Click	←	←	←	←	←	←	←
A1 33	Metronome Click	←	←	←	←	←	←	←
B♭1 34	Metronome Bell	←	←	←	←	←	←	←
B1 35	Standard1 Kick 2	Room Kick 2	Power Kick 2	Electric Kick 2	Synth Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 1
C2 36	Standard1 Kick 1	Room Kick 1	Power Kick 1	Electric Kick 1	Synth Kick 1	Jazz Kick 1	Jazz Kick 1	Concert BD 1
C♯2 37	Side Stick	←	←	←	Synth Rim Shot	←	←	←
D2 38	Standard1 Snare 1	Room Snare 1	Power Snare 1	Electric Snare 1	Synth Snare 1	Jazz Snare 1	Brush Snare 1	Concert SD
E♭2 39	Hand Clap 1	←	←	←	Hand Clap 2	<←	Brush Slap	Castanets
E2 40	Standard1 Snare 2	Room Snare 2	Power Snare 2	Electric Snare 2	Synth Snare 2	Jazz Snare 2	Brush Snare 2	Concert SD
F2 41	Low Tom 2	Room Low Tom 2	Power Low Tom 2	Electric Low Tom 2	Synth Low Tom 2	←	←	Timpani F
F♯2 42	Closed Hi-Hat	←	←	←	Synth Closed HH 1	←	←	Timpani F♯
G2 43	Low Tom 1	Room Low Tom 1	Power Low Tom 1	Electric Low Tom 1	Synth Low Tom 1	←	←	Timpani G
A♭2 44	Pedal Hi-Hat	←	←	←	Synth Closed HH 2	←	←	Timpani G♯
A2 45	Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Power Mid Tom 2	Electric Mid Tom 2	Synth Mid Tom 2	←	←	Timpani A
B♭2 46	Open Hi-Hat	←	←	←	Synth Open HH	←	←	Timpani A♯
B2 47	Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Power Mid Tom 1	Electric Mid Tom 1	Synth Mid Tom 1	←	←	Timpani B
C3 48	High Tom 2	Room High Tom 2	Power High Tom 2	Electric High Tom 2	Synth High Tom 2	←	←	Timpani c
C♯3 49	Crash Cymbal 1	←	←	←	Synth Crash Cymbal	←	←	Timpani c♯
D3 50	High Tom 1	Room High Tom 1	Power High Tom 1	Electric High Tom 1	Synth High Tom 1	←	←	Timpani d
E♭3 51	Ride Cymbal 1	←	←	←	Synth Ride Cymbal	←	←	Timpani d♯
E3 52	Chinese Cymbal	←	←	Reverse Cymbal	←	←	←	Timpani e
F3 53	Ride Bell	←	←	←	←	←	←	Timpani f
F♯3 54	Tambourine 1	←	←	←	Synth Tambourine	←	←	←
G3 55	Splash Cymbal	←	←	←	←	←	←	←
A♭3 56	Cowbell	←	←	←	Synth Cowbell	←	←	←
A3 57	Crash Cymbal 2	←	←	←	←	←	←	Concert Cymbal 2
B♭3 58	Vibraslap	←	←	←	←	←	←	←
B3 59	Ride Cymbal 2	←	←	←	←	←	←	Concert Cymbal 1
C4 60	High Bongo	←	←	←	Synth High Bongo	←	←	←
C♯4 61	Low Bongo	←	←	←	Synth Low Bongo	←	←	←
D4 62	Mute High Conga	←	←	←	Synth Mute Hi Conga	←	←	←
E♭4 63	Open High Conga	←	←	←	Synth Open Hi Conga	←	←	←
E4 64	Open Low Conga	←	←	←	Synth Open Low Conga	←	←	←
F4 65	High Timbale	←	←	←	←	←	←	←
F♯4 66	Low Timbale	←	←	←	←	←	←	←
G4 67	High Agogo	←	←	←	←	←	←	←
A♭4 68	Low Agogo	←	←	←	←	←	←	←
A4 69	Cabasa	←	←	←	←	←	←	←
B♭4 70	Maracas	←	←	←	Synth Maracas	←	←	←
B4 71	Short High Whistle	←	←	←	←	←	←	←
C5 72	Long Low Whistle	←	←	←	←	←	←	←
C♯5 73	Short Guiro	←	←	←	←	←	←	←
D5 74	Long Guiro	←	←	←	←	←	←	←
E♭5 75	Claves	←	←	←	Synth Claves	←	←	←
E5 76	High Wood Block	←	←	←	←	←	←	←
F5 77	Low Wood Block	←	←	←	←	←	←	←
F♯5 78	Mute Cuica	←	←	←	←	←	←	←
G5 79	Open Cuica	←	←	←	←	←	←	←

音名／ノートナンバー	スタンダードセット	ルームセット	パワーセット	エレクトリックセット	シンセセット	ジャズセット	ブラッシュセット	オーケストラセット
A♭5 80	Mute Triangle	←	←	←	←	←	←	←
A5 81	Open Triangle	←	←	←	←	←	←	←
B♭5 82	Shaker	←	←	←	←	←	←	←
B5 83	Jingle Bell	←	←	←	←	←	←	←
C6 84	Bell Tree	←	←	←	←	←	←	←
C♯6 85	Castanets	←	←	←	←	←	←	←
D6 86	Mute Surdo	←	←	←	←	←	←	←
E♭6 87	Open Surdo	←	←	←	←	←	←	←
E6 88	Applause 1	←	←	←	←	←	←	←
F6 89	Applause 2	←	←	←	←	←	←	←
F♯6 90	Fanfare	←	←	←	←	←	←	←
G6 91	–	–	–	–	–	–	–	–
A♭6 92	イチ	←	←	←	←	←	←	←
A6 93	ニ	←	←	←	←	←	←	←
B♭6 94	サン	←	←	←	←	←	←	←
B6 95	ヨン	←	←	←	←	←	←	←
C7 96	ゴ	←	←	←	←	←	←	←

←：スタンダードセットと同じ　　–：なし

フィンガードコード一覧表

よく使われるコードの各キーでの押さえ方です。（転回形も含まれています）

ルート＼コード種	メジャー	m（マイナー）	7（セブンス）	m7（マイナーセブンス）	dim7（ディミニッシュセブンス）	M7（メジャーセブンス）	m7♭5（マイナーセブンスフラットフィフス）	dim（ディミニッシュ）
C	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
C♯（D♭）	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
D	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
E♭（D♯）	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
E	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
F	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
F♯（G♭）	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
G	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
A♭（G♯）	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
A	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	※	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
B♭（A♯）	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	※	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
B	[5, 2, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	※	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]

ルート＼コード種	aug（オーギュメント）	sus4（サスフォー）	7 sus4（セブンスサスフォー）	m add9（マイナーアドナインス）	m M7（マイナーメジャーセブンス）	7♭5（セブンスフラットフィフス）	add9（アドナインス）
C	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
C♯（D♭）	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
D	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
E♭（D♯）	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
E	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
F	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
F♯（G♭）	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
G	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
A♭（G♯）	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
A	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
B♭（A♯）	※	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
B	※	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]

※ スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を広げれば、このコードを指定できます。操作については、44ページの「スプリット機能を利用するには」を参照してください。

カシオトーン用楽譜集のご紹介

多彩な音色やリズム、指一本でも本格的な演奏が楽しめる自動伴奏機能（カシオコード）などを、パーフェクトに使いこなしていただくための楽譜集です。

楽譜集

やさしく弾けるファミリーキーボードライブラリー カシオトーンランドシリーズ

CFL-101YC ようこそカシオトーンランドへ	CFL-102HC 初めてのカシオトーン	CFL-103KU こどものうた 1	CFL-104KU こどものうた 2	CFL-107HP ヒットポップス	CFL-108NM ニューミュージック
(子供用入門) 大きな栗の木の下で 茶色のこびん かっこう 他 全37曲	(大人用入門) 河は呼んでる 500マイルはなれて 駅馬車 他 全35曲	アイアイ いぬのおまわりさん ぞうさん 他 全45曲	春がきた 赤とんぼ ハイ･ホー 他 全44曲	すべてをあなたに やさしく歌って レット･イット･ビー 他 全29曲	いとしのエリー ANNIVERSARY SUMMER CANDLES 他 全24曲
CFL-109EL イージーリスニング	**CFL-111HS ヒットソング1**	**CFL-112HS ヒットソング2**	**CFL-113RK 永遠のロック**		
オリーブの首飾り マイ･ウェイ ある愛の詩 他 全29曲	君がいるだけで それが大事 ラブストーリーは突然に 他 全20曲	SAY YES どんなときも 会いたい 他 全21曲	青い影 キラー・クイーン スモーク・オン・ザ・ウォーター 他 全21曲		

★上記ご案内は、本書印刷時点でのものです（万一品切れの際はご容赦ください）。
★別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパート）でお求めになれます。

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

●テレビやラジオの近くでは使わないでください。

テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから充分に離してお使いください。

●お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。

鍵盤などのお手入れは、柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。

●極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。

液晶表示の濃淡が極端に変化し、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

647A-J-066A

製品仕様

型式	LK-280CDTV
鍵盤 ・光鍵盤	61 鍵　5 オクターブ（標準鍵）……タッチレスポンス機能付き（オン／オフ） 同時発光数（最大 10 鍵）、オン／オフ設定可
音色数	128 パネルトーン＋ 128 GMトーン＋ 8 ドラムセット（計 264 音色）……レイヤースプリット可
リズム楽器音色数	61 音色
同時発音数	最大 32 音（一部音色により最大 16 音）
エフェクト	リバーブ（4 種類、オフ）、コーラス（4 種類、オフ）
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・リズムコントローラー ・伴奏／曲の音量	 100 種類 可変（226 段階　♩＝ 30 ～ 255） 3 種類（カシオコード／フィンガード／フルレンジコード） スタート／ストップ、イントロ、ノーマル／フィルイン、バリエーション／フィルイン、シンクロ／エンディング 0 ～ 127（128 段階）
＜アドバンスト 3 ステップレッスン＞ **3 ステップレッスン機能** ・再生方式 ・採点機能 ・運指音声機能	 3 種類（ステップ 1、2、3） 1 曲繰り返し再生 採点 1、採点 2、 採点 3、練習フレーズ機能 オン／オフ
ソングバンク／ピアノバンク機能 ・曲数 ・コントローラー	 ソングバンク／カラオケ：40 曲、ピアノバンク：50 曲、ダウンロード曲：10 曲 演奏／停止、一時停止、早戻し、早送り、左手、右手、リピート
ミュージカルインフォメーション機能	音色／自動伴奏／ソングバンク／ピアノバンク／カラオケ／ CD の番号および名称、五線譜、テンポ、メトロノーム、小節数／拍子、ステップレッスン表示、コード名、運指、ペダル、鍵盤、カラオケアイコン、エコー表示、運指音声、採点機能表示、歌詞表示
カラオケ機能 ・曲数 ・コントローラー	 ソングバンク／カラオケ：40 曲、ダウンロード曲：最大 10 曲（合計約 172 キロバイト） 演奏／停止、キーコントロール（25 段階、－ 12 半音～ 0 ～＋ 12 半音）
メトロノーム機能 ・拍子設定	オン／オフ 0、2、3、4、5、6 拍子
ソングメモリー機能 ・曲数 ・録音内容 ・録音方法 ・メモリー容量	 2 曲（レッスンソング：1 曲、ユーザーソング：1 曲） レッスンソング：右手パート、左手パート、両手パート ユーザーソング：トラック 1（コード伴奏）、トラック 2（メロディー） リアルタイム録音 約 5200 音符（2 曲合計）
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能	 25 段階（－ 12 半音 ～ 0 ～ ＋ 12 半音） 101 段階可変‥‥‥A4 ＝約 440Hz ± 50 セント
CD ドライブ ・型式 ・信号読みとり方式 ・チャンネル数 ・ワウフラッター ・周波数特性	 コンパクトディスク　デジタルオーディオシステム 非接触光学式（半導体レーザー使用） 2 チャンネル 測定限界以下（EIAJ） 20 ～ 20,000 Hz ± 3dB
端子 ・サスティン／アサイナブル端子 ・ヘッドホン・アウトプット端子 ・電源端子 ・ギターイン端子 ・マイク入力端子 ・USB 端子 ・ビデオアウト端子	 標準ジャック（サスティン、ソステヌート、ソフト、リズムのスタート／ストップ） ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス 100 Ω 出力電圧 4V (RMS) MAX DC12V 入力インピーダンス 47KΩ 標準ジャック（マイクボリューム付き） 入力インピーダンス 3KΩ 入力感度 10mV ミニジャック：NTSC ビデオ (75 Ω) オーディオ(L/R)(出力インピーダンス 2.2KΩ)
電源 ・電池 ・家庭用 100V 電源使用 ・オートパワーオフ機能	2 電源方式 単 1 形電池 6 本使用 電池持続時間：約 4 時間‥‥‥アルカリ電池使用時 AC アダプター AD-12JL を使用 約 6 分後（電池使用時）　キャンセル可能
スピーカー出力	4.0W ＋ 4.0W
消費電力	12V ⎓ 18W
サイズ	幅 96.0 × 奥行き 37.5 × 高さ 14.7 cm
重量	約 6.4kg（電池含まず）
付属品	譜面立て、AC アダプター（AD-12JL）、ビデオケーブル、取扱説明書（本書）、保証書、楽譜集、歌詞集、CD-ROM 用楽譜＆歌詞集、CD-ROM2 枚、CD-ROM ガイド、リストシート

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-3A
	CP-16
マイク	DM-302-2
サスティンペダル	SP-3
	SP-20
ソフトケース	SC-550B
スタンド	CS-4B
	CS-7W
楽譜集は64ページをご覧ください。	

★*別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパートなど）でお求めになれます。*

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● **保証期間中は**
保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ･サービスステーションが修理をさせていただきます。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

● **保証期間が過ぎているときは**
お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ･サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

● 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

● 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

Model LK-280CDTV

USB端子で送信・受信されるMIDIメッセージについて

Version : 1.0

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲	1 1 ～ 16	1 ～ 16 1 ～ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代　用	モード3 × ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	モード3 × ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	
ノート ナンバー：	音　域	36 ～ 96 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	0 ～ 127 12 ～ 108 *1	*1：音色による
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v = 1～127 × 8nH v = 64	○ 9nH v = 1 ～ 127 × 9nH v= 0、8nH v= **	**：関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○ *2	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロール チェンジ	0,32 1 6, 38 7 10 11 64 66 67	○ × ○ *3 × × × ○ *4 ○ *4 ○ *4	○ ○ *2 ○ *3 ○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ボリューム パン エクスプレッション ホールド1 ソステヌート ソフトペダル

644A-J-070A

100, 101 120 121	○ *3 × ×	○ *3 ○ ○	RPN LSB, MSB オール・サウンド・オフ リセット・オール・コントローラー
プログラムチェンジ： 設定可能範囲	○ 0 ～ 127 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	○ 0 ～ 127 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	
エクスクルーシブ	○ *5 *6	○ *5 *6	
コモン　：ソング・ポジション ：ソング・セレクト ：チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム　：クロック ：コマンド	○ ○	× ×	
その他　：ローカル ON／OFF ：オール・ノート・オフ ：アクティブ・センシング ：リセット	× × × ×	× ○ ○ ×	
備　考	*2：モジュレーションとチャンネル別アフタータッチは同一効果 *3：ファインチューン、コースチューンの送受信、およびピッチベンドセンス、RPN Null の受信 *4：アサイナブルジャックの設定により択一 *5：・リバーブタイプ [F0][7F][7F][04][05][01][01][01][01][01][00][vv][F7] vv=00: Room1, 01: Room2, 04: Hall1, 03: Hall2 ・コーラスタイプ [F0][7F][7F][04][05][01][01][01][01][02][00][vv][F7] vv=00: Chorus1, 01: Chorus2, 02: Chorus3, 03: Chorus4 *6：GM　オン／オフ　GM ON : [F0] [7E] [7F] [09] [01] [F7] GM OFF : [F0] [7E] [7F] [09] [02] [F7]		

モード1：　オムニ・オン、ポリ　　モード2：　オムニ・オン、モノ　　○ ： あり
モード3：　オムニ・オフ、ポリ　　モード4：　オムニ・オフ、モノ　　× ： なし

CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

F MA0406-A Printed in China
LK280CDTV-JA-1